

令和6年度
(2024年度)

業 務 年 報

大分県農林水産研究指導センター

令和6年度(2024年度)業務年報

目次

I	大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1	農林水産研究指導センターの組織.....	1
2	所属の業務・試験研究.....	2
3	試験研究課題の重点化と評価の徹底	3
4	情報発信機能の強化	9
5	産学官との連携.....	12
6	研究員の資質向上	13
7	知的財産権の取得状況.....	18
8	受賞、学位取得の状況.....	19
9	予算概要	20
II	研究部・グループの概要.....	21
1	農業研究部.....	21
2	農業研究部水田農業グループ	29
3	農業研究部果樹グループ	34
4	農業研究部花きグループ	39
5	畜産研究部.....	43
6	林業研究部.....	51
7	林業研究部きのこグループ.....	57
8	水産研究部、水産研究部北部水産グループ	64

I 大分県農林水産研究指導センターの概要

1 農林水産研究指導センターの組織

平成 17 年 4 月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及に向けて研究指導体制を強化し、平成 22 年 4 月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。

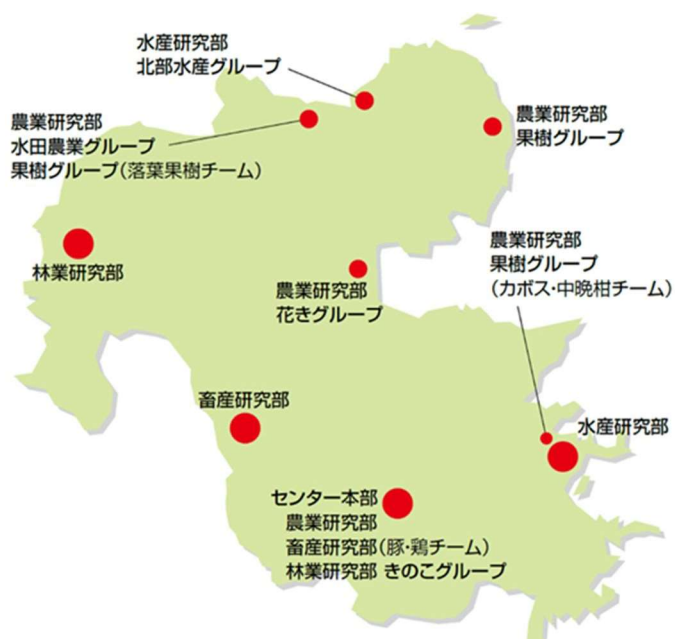
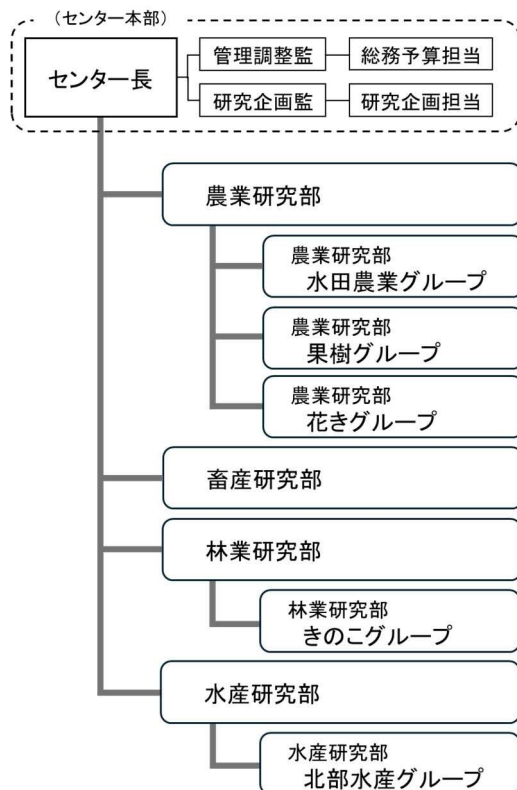
同時に、環境対策をはじめ分野を超えた課題に対し連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の 4 研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発に向け、チーム制を導入し、組織全体を統括するため、センター長・管理調整監・研究企画監・総務予算担当・研究企画担当（以下、「センター本部」という。）を豊後大野市に配置した。その後も、実情に応じ各チームの再編や名称変更等を行い、現在の組織体制に至っている。

令和 7 年 3 月には試験研究の方向性を示す「大分県農林水産試験研究基本指針 2024」を策定した。指針では、「時代の変化とマーケットに対応し、産地と担い手の技術を革新する農林水産試験研究の確立」を基本理念としており、「ニーズ」、「チャレンジ」、「普及」を行動指針としている。現場ニーズを的確に捉え、革新的な研究開発に果敢に取り組み、研究成果の迅速な普及に努めることとしている。

引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ普及・指導できるよう、豊後大野市のセンター本部では試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、試験課題評価・成果公表、研究員の資質向上等の業務を行う。

農林水産研究指導センターの組織体系

（位置図）



農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

令和6年4月1日現在

機関	事務職員	技術職員					農業 技術員等	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター(本部)	3		6			6		9
農業研究部	6	32	1			33	7	46
水田農業グループ	3	8	1			9	5	17
果樹グループ	1	13	1			14	6	21
花きグループ	1	7	1			8	3	12
畜産研究部	4	23	3			26	27	57
林業研究部	2	15	1			16	2	20
きのこグループ		5	1	2		8	1	9
水産研究部	3	17	1		5	23		26
北部水産グループ	1	11	1			12		13
合計	24	131	17	2	5	155	51	230

2 所属の業務・試験研究

所 属	主 な 業 務 ・ 研 究 内 容
農林水産研究指導センター (センター本部)	○研究課題の決定調整・進行管理 ○共同研究の調整・知的財産取得・活用 ○課題評価・成果公表 ○研究員の資質向上 ○産学官交流・連携促進
農業研究部	○未利用資源活用技術、土壌環境の改良 ○IPM に基づく病害虫防除技術、難防除病害虫等対策技術、病害虫の発生予察 ○イチゴの品種育成、栽培技術、ウイルスフリー苗の供給 ○ピーマン・トマト・ネギ・カンショ等の栽培技術 ○カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給 ○茶の栽培技術、病害虫防除技術、品種選定
水田農業グループ	○稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善 ○稲・麦・大豆の優良種子生産 ○水田畑地化を実現するための技術開発 ○水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発
果樹グループ	○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術 ○カボス・中晩相等の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○ナシ・ブドウ・キウイフルーツ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術
花きグループ	○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○バイオ技術
畜産研究部	○肉用牛の改良増殖、種雄牛造成、精液供給 ○肉用牛の飼養技術、繁殖技術 ○乳用牛の飼養技術、繁殖技術 ○牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策 ○豚の育種、飼養管理技術、精液供給 ○家きんの育種、飼養管理技術
林業研究部	○育種・育林技術、病虫獣害対策技術 ○木材乾燥技術、木材性能評価、木竹材製品開発 ○林業に関する研修及び現地指導
きのこグループ	○きのこの育種、栽培技術、病害虫防除技術 ○きのこ類の生理、分類、同定に関する研究 ○しいたけに関する研修及び現地指導
水産研究部	○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術 ○別府湾以南の漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術 ○海面養殖技術の開発、水産物の品質向上技術、魚介類の疾病対策
北部水産グループ	○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、海藻類の増養殖技術 ○別府湾以北の漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術 ○内水面の増養殖技術の普及指導、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術

3 試験研究課題の重点化と評価の徹底

限られた試験研究資源のもとで効率的・効果的な研究開発を進め、現地普及に結びつけていくため、試験研究課題は実用化研究と基礎調査研究に大別して整理し、実用化研究の研究期間は原則３年以内としている。

また、実用化研究の課題化については、本県農林水産業の振興や県民生活の向上などに資する試験研究とするため、国等の競争的研究資金等を除き、一般県民や生産者、関係団体などから寄せられた要望をもとに具体的な試験研究課題を設定するとともに、外部の評価員等による客観的な評価を経て、農林水産部長の承認をもって試験研究課題として決定している。

さらに、試験研究課題を計画的、効果的に推進するため、研究期間中は試験研究期間の進行管理を徹底するとともに、終了した事前評価対象課題は事後評価（検証）を行い、現地移転に向けた検討や研究へのフィードバックを行っている。

（１）試験研究課題の決定及び事前評価

１）試験研究課題調整会議 ：令和６年４月～５月開催

生産者等から寄せられた 168 件の要望から県民のニーズや政策的なニーズを分析し、試験研究として取組可能な要望課題の絞り込みを行うため、４研究部５グループ（以下、「所属」という。）単位で開催した。

２）試験研究課題検討会 ：令和６年６月～７月開催

試験研究課題調整会議で絞り込んだ要望課題をもとに作成した試験研究計画について、現場ニーズや政策ニーズに合致した内容とするため所属単位で開催し、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

検討の結果、18 課題について事前評価を受けることとした。

３）試験研究課題評価会議（事前評価） ：令和６年９月１２日開催

大分県農林水産部外部評価委員会委員（有識者、学識経験者、流通関係者、生産者代表）、外部団体評価員及び農林水産部評価員により構成する試験研究課題評価会議による事前評価を行った。

農林水産研究指導センターでは、総合得点 60 点以上の評価を得た新規課題候補を次年度予算要求課題として農林水産部長の承認を受けることとしている。評価の結果、18 課題すべて総合得点が 60 点以上であり、次年度から試験研究を行うこととした。

事前評価課題（18課題）

所 属	課 題 名
農業研究部	AI等を活用した夏秋ピーマンの赤果等障害果選果技術の開発 白ねぎにおけるドローンを活用した防除方法の確立 果実が硬く多収な次世代「ベリーツ」の育成 高糖度かんしょの作型拡大に向けた品質向上技術の確立 ドリンク茶産地に対応した効率的な生産管理技術の確立
水田農業グループ	実需に求められる醸造用小麦「はるみずき」生産の実現に向けた減化学肥料栽培技術の確立 堆肥最大利用による化学肥料削減技術の確立
果樹グループ	カンキツの規模拡大を支援する垣根樹形の確立 新たな経営体に対応したカボスの栽培技術の確立
花きグループ	効率的な輪ギク経営体系の確立 気候変動に対応したスイートピーの環境制御技術の確立と品種・系統の開発
畜産研究部	新たな卵巣機能活性化手法による効率的な受精卵生産の検討
林業研究部	スギ苗木生産における通年作業の確保に関する研究 スギ推奨品種を用いた製材品の乾燥及び強度性能の検証
きのこグループ	晩夏のほだ木管理による発生量安定技術の確立 原木伏込量増大のための伐採・玉切り時期の研究（Ⅱ）
水産研究部	EP飼料によるかぼす魚生産技術の確立
北部水産グループ	ハマグリの子苗生産および増殖技術の開発

令和6年度 大分県農林水産部試験研究外部評価委員

分 野	委員名	役職等
有識者	大呂 興平	国立大学法人大阪大学 人文学研究科 准教授
有識者	立松 洋子	立松食育研究所 所長
流通関係者	長尾 喜久男	京都青果合同株式会社 専務取締役
流通関係者	福山 博久	イオン九州株式会社 食品コーディネーター部 地域・生産者支援チームマネージャー
生産者代表	（農業）田中 奈津子	茶・野菜生産者
	（農業）堀 真剛	なし生産者 大分県なし研究会長
	（畜産）高橋 みゆき	畜産農家
	（林業）清瀧 毅	林業用苗木生産者 有限会社キヨタキナーセリー 会長
	（水産）須川 直樹	漁船漁業者

(2) 事後評価（試験研究結果の検討）

現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、令和5年度に終了した事前評価対象課題について所属単位で試験研究結果検討会を開催し、今後の普及計画等について検証した。

令和6年度事後評価課題（令和5年度終了課題）（18課題）

所属	課題名	研究結果
農業研究部	天敵を活用した「おおば」の害虫防除体系の構築 (R3～R5)	・3種のアザミウマの発生、食性及び薬剤感受性を確認 ・有効な防除方法を解明 ・総合防除体系マニュアルを作成
	黒ボク土壌地域における根深ネギの黒腐菌核病の防除体系の確立(R3～R5)	・黒腐菌核病に効果の高い殺菌剤として5系統14剤を選抜 ・定植時期毎の防除体系を確立 ・ドローンによる黒斑病の防除では、背負式動力噴霧器と同等の効果が得られる一方で、ホバリング直下の葉折れ及び無風条件下でのドリフトの発生を確認 ・試験結果を基に現地で活用しやすい防除暦の形でマニュアル案を作成
	西日本一の夏秋ピーマン産地を支える抵抗性品種の選抜及び栽培技術の確立 (R3～R5)	・TSWV抵抗性品種の増収技術を確立 ・青枯病抵抗性さららの有望系統を選抜
	根深ネギの大苗育苗技術を利用した新たな栽培体系の確立(R3～R5)	・夏期の生育安定化技術を確立 ・新たな栽培体系に適した大苗育苗技術を確立
花きグループ	新しい生活様式に対応した新規花き品目の探索と品目選定(R3～R5)	・有望花木類の栽培技術を確立 ・有望花きの電照等による開花調整技術を確立 ・少量培地栽培の夏作品目の選定と栽培技術を確立
	花き類における省力的防除技術体系の構築 (R3～R5)	・アザミウマ類及びタバコノミハムシに対する有効薬剤を選定 ・ホオズキにおける天敵資材の防除効果を確認
畜産研究部	早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立 (R3～R5)	・4～6カ月齢の間に人工乳2kgと育成飼料2kgを給与した区は、体重シグマ値が高く推移したことから体重を向上させる可能性があると思われ、早期肥育に供する素牛生産に寄与できることを確認 ・肥育前期にバイパスたんぱくを添加した飼料給与により、25か月齢出荷でも慣行と遜色ない枝肉成績を達成できることを確認
	周年親子放牧に適した牧草種による周年放牧の実証 (R3～R5)	・トールフェスクは、オーバーシードや蹄耕法等の簡易な造成法には適さないが、機械耕で造成することで、バヒアグラスと同等の牧養力があり、牛の嗜好性も問題ないことを確認
	肥育豚への籾米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立(R3～R5)	・一般配合飼料にイネSGSを40%またはイネSGS30%生ヘコ10%混合しても発育成績及び枝肉成績に影響はなく、肥育後期の飼料コストを最大18%削減できる ・イネSGS及び生ヘコを給与しても、食味に影響はないことを確認

所属	課題名	研究結果
林業研究部	スギ・ヒノキさし木苗の生産性向上に関する研究 (R3～R5)	・コンテナ直ざし生産において、元肥利用は発根に影響がなく、苗高及び根本径成長において促進効果があること及び追肥に効果があることを確認 ・品種により発根の開始時期・速度、成長量等に差があること、元肥を利用することでミニ穂でも育苗期間 1 年で規格到達の見込がある品種があることなど、特定苗木の品種の特性を確認
	大分県に適した早生樹の苗木生産・育林技術の開発 (R3～R5)	・コウヨウザンの優良系統候補木 5 系統について、寝伏植栽によるさし木に利用可能な萌芽枝の発生を確認 ・コウヨウザンに適した獣害対策を確認
	低コスト造林施策推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明(R3～R5)	・スギ特定母樹(県日出 3 号、県佐伯 6 号、県佐伯 13 号、県日田 15 号)の樹幹内の材質や強度分布を明らかにした ・シャカイン、ヤマグチについて、植栽密度による材質に及ぼす影響は、品種の影響に比べて小さいことを確認
	大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発 (R3～R5)	・315 mm角の大分方式乾燥及び 255 角の天然乾燥では、800 日程度で含水率が 20%程度になることを確認 ・心去り材は心持ち材と同様に、大分方式乾燥や高温乾燥を選択することも可能であることを確認
きのこグループ	廃菌床等を利用した低コストシイタケ栽培技術の検討 (R3～R5)	・廃菌床を体積比で 50%混合しても発生量や品質は既存の培地と同等であることを確認 ・廃菌床 50%混合の場合、栄養体量の 2 割削減や 3 回の繰り返し利用でも同等の発生量が期待できる
	発生量増大を目指したほど木育成管理技術の確立 (R3～R5)	・1 年起し時期により極端な発生量の差がないことを確認 ・過去の市販 3 品種の発生データを分析したところ、8 月中旬から 9 月中旬の雨量と発生量に正の相関がみられた ・他の市販 2 品種を使用して同時期に散水を行ったところ、1 年目の発生量が増加することを確認
水産研究部	IoT 等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策(R3～R5)	・赤潮発生時に赤潮カメラで海水を撮影し、RGB 値を解析したところ赤潮の水色を捉えることができた ・イムノクロマト法を用いた簡易分析キットによる貝毒検査により、貝や有毒プランクトンの種類によらずに毒の検出をすることができることを確認
	ヒラメ耐病性家系の選抜育種(R3～R5)	・耐病性を持つ個体を探索 ・育種価（成長）を用いた優良家系を育種
北部水産グループ	ヒジキ『完全養殖技術』の開発(R3～R5)	・新たな資材を用いた養殖技術を検討 ・人工種苗の量産化を検討 ・収穫済みロープの再利用化技術を検討

(3) 農林水産試験研究アドバイザー

農林水産研究指導センターでは、大学や国立研究開発法人等の研究者や専門的な知識・経験を有する有識者などを農林水産試験研究アドバイザーに選任しており、研究課題に関して専門分野の技術的アドバイスを受けている。令和6年度大分県農林水産研究指導アドバイザーは次のとおり。

	所属名	職名	氏名	備考
農業研究部	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 環境農学部門 生産環境科学講座	教授	平舘 俊太郎	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 飼料生産グループ	グループ長補佐	古賀 伸久	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准教授	上野 高敏	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	上級研究員	井上 博喜	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教授	尾崎 行生	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ	グループ長補佐	壇 和弘	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 畑作物・野菜栽培グループ	グループ長	石井 孝典	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶品種育成・生産グループ	グループ長	吉田 克志	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	助教	安彦 友美	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地水田輪作研究領域 スマート水田輪作グループ	グループ長	高橋 仁康	
	国立大学法人 鹿児島大学	名誉教授	富永 茂人	R6.9.30 まで
	国立大学法人 鹿児島大学	農学部副学部長 (兼) 教授	山本 雅史	R6.10.1 から
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整役	吉岡 照高	
	国立大学法人 鳥取大学	名誉教授 学長顧問	田村 文男	
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 施設野菜グループ	主任研究員	今村 仁	

	所属名	職名	氏名	備考
	学校法人 東海大学	名誉教授	田中 孝幸	
	株式会社大分園芸花市場	代表取締役	菊谷 晴美	
畜産研究部	国立大学法人 広島大学 大学院統合生命科学研究科	教授	島田 昌之	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座	准教授	高橋 秀之	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長	細田 謙次	
	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域 飼料生産グループ	上級研究員	池田 堅太郎	
林業研究部	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	久保田 正裕	R6.9.30 まで
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所九州支所 森林生態系研究グループ	グループ長	野宮 治人	R6.9.30 まで
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 環境農学部門 サステナブル資源科学講座	准教授	藤本 登留	R6.9.30 まで
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	千吉良 治	R6.10.1 から
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所	支所長	伊神 裕司	R6.10.1 から
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所森林生態系研究グループ	主任研究員	山岸 極	R6.10.1 から
	大分県椎茸農業協同組合	参与	有馬 忍	
水産研究部	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所九州支所森林微生物管理研究グループ	グループ長	木下 晃彦	
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門	特任部長	照屋 和久	R6.9.30 まで
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 育種部	育種部長	正岡 哲治	R6.10.1 から
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 養殖部門 育種部	系統開発 グループ長	菅谷 琢磨	
	国立大学法人九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座	准教授	島崎 洋平	
	国立大学法人 三重大学 大学院生物資源学研究所 生物圏生命科学専攻海洋生物学講座 先端養殖管理学研究室	准教授	北村 真一	
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座藻場生態系保全研究室	教授	村瀬 昇	
	学校法人 福山大学 生命工学部 海洋生物科学科 沿岸資源培養学研究室	教授	太田健吾	

4 情報発信機能の強化

(1) 研究 Now

研究成果等を「研究 Now」と題してホームページに掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

vol.	所属	タイトル
147	果樹グループ	省エネルギー温度管理でハウスミカンの燃料費削減へ！
148	農業研究部	畑地化水田における高糖度かんしょの土壌物理性改良方法の検討
149	農業研究部	黒ボク土壌地域における根深ネギの黒腐菌核病の防除体系確立
150	水田農業グループ	県内でリレー出荷可能な「えだまめ」品種を選定しました！
151	農業研究部	積極的外気導入による夏秋トマトハウスの栽培環境改善
152	農業研究部	分割育苗法によるサトイモ優良種苗生産技術
153	水産研究部	イトヨリダイの年齢と成長、成熟に関する研究
154	林業研究部	疎植造林による育林施業体系の開発
155	北部水産グループ	大分県周防灘海域における水温の長期変動解析
156	畜産研究部	ウシ体外受精卵の発生培地への酵母エキス添加で受精卵の生産数が向上
157	畜産研究部	活用が期待される県有種雄牛「幸照茂」

(2) 普及カード

各研究部・グループが実施した研究のうち、生産現場に普及すべき成果（令和5年度までに成果が得られたもの）を「普及カード」としてまとめ、公開になじまないもの（資料として取り扱うもの）を除き、ホームページで公開した。（令和6年度発行数27）

N o	研究 機関	タイトル	研究課題名	試験 期間	資 料
1	農業 研究 部	ドローンリモートセンシングにおける白ねぎ生育診断ソフトの活用	ドローンリモートセンシングによる大規模経営体の経営効率化支援技術の確立	R4-R6	○
2		県産豚ふん・鶏ふん堆肥の成分分析	「みどりの食料システム戦略」実現に向けた施肥技術の確立	R5-R7	○
3		オオバに発生するアザミウマ類について	天敵を活用した「おおば」の害虫防除体系の構築	R3-R5	
4		天敵資材と物理的防除資材によるオオバのアザミウマ対策	天敵を活用した「おおば」の害虫防除体系の構築	R3-R5	
5		オオバに発生する3種のアザミウマの薬剤感受性検定結果	天敵を活用した「おおば」の害虫防除体系の構築	R3-R5	○
6		ピーマン斑点病の薬剤感受性検定結果	病害虫発生予察事業 薬剤感受性検定（病害）	長期	○
7		オンシツコナジラミの薬剤感受性検定結果	夏秋トマト栽培で問題となるコナジラミ類の防除技術の開発	R4-R6	○
8		ネギ黒腐菌核病の薬剤感受性検定結果	黒ボク土壌地域における根深ネギの黒腐菌核病の防除体系の確立	R3-R5	○
9		ネギアザミウマの薬剤感受性検定結果	根深ネギにおけるネギアザミウマの薬剤感受性検定	R5	○
10		春先のイチゴ「大分6号」に対する徒長抑制剤の効果	「ベリーツ(大分6号)」の高品質安定生産技術の確立	R2-R4	○

N o	研究 機関	タイトル	研究課題名	試験 期間	資 料
11		夏秋トマト栽培における赤外線カット資材の効果実証	夏秋トマトの栽培環境改善技術の確立	R2-R4	○
12		イチゴ「大分6号」の収量と品質の向上のための環境制御技術	「ベリーツ(大分6号)」の高品質安定生産技術の確立	R2-R4	○
13		イチゴ「大分6号」の春先の品質向上対策	「ベリーツ(大分6号)」の高品質安定生産技術の確立	R2-R4	○
14		白ネギの夏越し作型における有望品種(第2報)	土地利用型作物の優良種苗生産技術の確立	R4-R6	○
15	花き グル ープ	トルコギキョウの夏秋産地・暖地における適品種の選定	トルコギキョウの安定生産技術と新たな栽培技術の確立	R4-R7	○
16		ホオズキ栽培での草マルチによる泥の跳ね上げ抑制	水田畑地化に対応したホオズキ栽培体系の確立	R2-R4	○
17		スイートピーの花弁に散布可能な灰色かび病有効薬剤の検討	スイートピーのスマート管理に向けたかん水・施肥技術の確立	R4-R6	○
18	畜産 研究 部	早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立(子牛育成技術の検討)	早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立(子牛育成技術の検討)	R3-R5	○
19		早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立(早期出荷に向けた肥育技術の検討)	早期出荷のための子牛育成及び肥育技術の確立(早期出荷に向けた肥育技術の検討)	R3-R5	○
20		周年親子放牧に適した牧草種による周年放牧の実証	周年親子放牧に適した牧草種による周年放牧の実証	R3-R5	○
21		肥育豚への粗米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立	肥育豚への粗米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立	R3-R5	
22	林業 研究 部	スギ・ヒノキさし木苗の生産性向上に関する研究	スギ・ヒノキさし木苗の生産性向上に関する研究	R3-R5	
23		大分県に適した早生樹の苗木生産・育林技術の開発	大分県に適した早生樹の苗木生産・育林技術の開発	R3-R5	○
24		低コスト造林施策推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明	低コスト造林施策推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明	R3-R5	
25		大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発	大径材の多様な利活用に向けた乾燥技術の開発	R3-R5	○
26	グル ープ きの こ	発生量増大を目指したほだ木育成管理技術の確立	発生量増大を目指したほだ木育成管理技術の確立	R3-R5	
27	研究 水産 部	ICTの活用による赤潮対策および効率的な貝母検査体制の構築	IoT等の新技術を活用した有害・有毒プラントクトン対策	R3-R5	

(3) 農林水産研究タイムリー情報

平成29年8月から、日常的な取組(トピックス等)を「農林水産研究タイムリー情報」として県庁ホームページに掲載している。令和6年度の実績は以下のとおりである(計159件発信)。

農業	71件(農業研究部38件、水田農業グループ9件、果樹グループ6件、花きグループ18件)
畜産	14件(畜産研究部14件)
林業	31件(林業研究部24件、きのこグループ7件)
水産	40件(水産研究部22件、北部水産グループ18件)
その他	3件(センター本部3件)

(4) 農林水産研究指導センター研究状況報告会

試験研究活動や成果を知事・副知事及び県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

ア) 知事・副知事報告 (開催日: 令和7年1月17日 場所: 知事室第一応接室)

発表課題	発表者
畑地化水田における「高糖度かんしょ」の土壌物理性改良方法の検討	農業研究部 土壌・環境チーム 主幹研究員 影井 雅夫
水稲高温登熟耐性品種「なつほのか」の選定	水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 渋谷 哲平

イ) 農林水産研究指導センター研究状況報告会 (開催日: 令和6年11月18日 場所: 大分県水産会館)

発表課題	発表者
低コスト造林施策推進に向けたスギ優良品種の材質特性の解明	林業研究部 木材チーム 研究員 佐藤 太一郎
発生量増大を目指したほだ木育成管理技術の確立	林業研究部きのことグループ きのことチーム 主任研究員 溝口 泰広
肥育豚への粳米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立	畜産研究部 豚・鶏チーム 主任研究員 波津久 香織
ナシの作業性に優れた「改良流線型仕立」栽培法の開発	農業研究部果樹グループ 落葉果樹チーム 研究員 薬師寺 亜紀
畑地化水田における『高糖度かんしょ』の土壌物理性改良方法の検討	農業研究部 土壌・環境チーム 主幹研究員 影井 雅夫
積極的外気導入による夏秋トマトハウスの栽培環境改善	農業研究部 果菜類チーム 研究員 榎本 聡太
分割育苗法によるさといも優良種苗生産技術の確立	農業研究部 葉根菜類・茶業チーム 研究員 阿部 青葉
水稲高温登熟耐性品種「なつほのか」の選定	農業研究部水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 渋谷 哲平
周防灘における栄養塩の長期変動傾向について	水産研究部北部水産グループ 養殖環境チーム 研究員 岡田 理

5 産学官との連携

(1) 県内試験研究機関との連携

県内の試験研究機関の機能強化、技術向上及び業務の効率化等の円滑な運営を図るため、各機関が総合的かつ有機的な連携体制を構築することを目的として、平成 22 年度に衛生環境研究センター、産業科学技術センター、農林水産研究指導センターの 3 機関で大分県試験研究機関連携会議を設置した。また、令和元年度から警察本部刑事部科学捜査研究所を加えた 4 機関の体制となった。

令和 6 年度は衛生環境研究センターが事務局を担当し、下記の会議を通じて 4 機関の連携を深めたほか、当センターが主催する研修（数理統計研修、研究員資質向上研修、若手研究員研修、はやしセミナー）については連携会議所属機関からも参加者を募り、研究員の資質向上及び研究員同士の交流の促進を図った。

開催日	場所	内容
R6.6.11	産業科学技術センター	企画運営会議 (本年度の活動体制・内容確認の打合せ)
R6.7. 9	産業科学技術センター	令和 6 年度第 1 回大分県試験研究機関連携会議 (令和 5 年度事業報告、令和 6 年度事業計画) 産業科学技術センター見学
R7.3. 4	衛生環境研究センター	令和 6 年度第 2 回大分県試験研究機関連携会議 (令和 6 年度事業報告等の資料共有)

(2) 大学等との連携

ア) 九州大学

本県と九州大学は、九州大学の教育研究並びに社会貢献の進展と、大分県における農林水産業の振興を図ることを目的に、「国立大学法人 九州大学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部と大分県農林水産部との連携に関する基本協定」を平成 19 年 1 月 29 日に締結している。連携事項は、(1)共同研究事業、(2)研究者及び学生の派遣・交流事業、(3)学術研究資料の交換事業、(4)その他、本協定の目的の達成に有益な事業、となっており、これらを行うために「連携協議会」を設置し、今後の連携交流の円滑な実施及び具体的な事業の推進を図ることとしている。

令和 6 年度は、個別課題における連携強化の観点から、当センター内各所属から連携及び研究内容の相談等を募り、出された課題ごとに関係する研究室と個別に web 会議やメールで協議を行った。

イ) 大分大学

本県と大分大学は、農林水産行政と理工学分野における学術研究及び教育との連携を通じて、県内農林水産業を担う人材の育成と県内農林水産業の技術的課題の解決を図り、農林水産業の振興と発展に寄与することを目的に、「大分県農林水産部と大分大学理工学部との連携に関する協定書」を令和 2 年 8 月 28 日に締結している。連携事項は、(1)県内農林水産業を担う人材育成に係る相互交流、(2)共同研究や研究委託を通じた技術的課題の解決、(3)学術研究情報及び教育・研究施設の相互利用、となっている。

ウ) 大分工業高等専門学校

当センターは、大分工業高等専門学校が主催する「大分高専テクノフォーラム」の会員となってい

るほか、大分工業高等専門学校と各種連携協議や相談、研修・行事等の相互乗り入れ等を通じた連携を行っている。

令和6年度は白ねぎ、常緑果樹及びキクにおける研究分野において共同研究を行うなど連携を図った。

6 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

	研修名	開催日	開催場所	参加人数
1	新規採用研究員・農業技術員研修	R6.4.9	県庁舎本館8階 81会議室	新規採用職員 16名
2	新規採用研究員等生産現場体験研修	随時	各生産現場	6名
3	採用5年目研修	R6.5.27 R6.8.2	県庁舎本館74会議室 県庁舎本館81会議室	3名
4	研究公正と研究倫理	R6.11.11～ 12.20	Eラーニング	新たに配属された職員 62名
5	研究員資質向上研修	R6.9.20	水産会館	52名
6	研究員資質向上研修・若手研究員研修	R7.1.8	産業科学技術センター	74名
7	研究員資質向上研修 ～はやしセミナー～	R7.3.17	農林水産研究指導センター 第3会議室	53名
8	数理統計研修	R6.11.27～ 11.29	県庁舎新館 OAプラザ	25名
9	農林水産業スマート技術研修	R6.12～ R7.3	オンライン動画学習 オンライン対面演習	2名
10	出前はやしセミナー	R7.2.12	畜産研究部	8名
11	若手研究者研修〔国研修〕	R6.10.10～ 10.11	東京都（農林水産省）	2名
12	中堅研究者研修〔国研修〕	R7.1.21～ 1.22	東京都（農林水産省）	3名
13	研究リーダー研修〔国研修〕	R6.7.9～ 7.10	東京都（農林水産省）	2名
14	短期技術習得研修	随時	－	9名

（1）新規採用研究員・農業技術員研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R6.4.9	県庁舎本館8階 81会議室	16名 (うち新規採用研究員 9名) (うち新規採用農業技術員7名)	農林水産研究指導センター長講話 農林水産研究指導センター センター長 竹中和男 農林水産研究指導センターの概要について 農林水産研究指導センター 研究企画監 信貴素子 大分県の一次産業を支える研究員・農業技術員としての構え 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 意見交換

（2）新規採用研究員等生産現場体験研修

受講者 所属	受講者 役職/氏名	派遣先 (派遣地)	研修期間	研修内容 (体験した主要な作業)
農業研究部	研究員	麻生竜誠氏	R6.6.3～12.13	ピーマン収穫・調整作業

	下見悠輔	(豊後大野市)	(うち 10 日間)	カンショ収穫・調整作業
農業研究部	研究員 中村進司	河野秀徳氏 (杵築市)	R6.12.3 ～R7.2.26 (うち 8 日間)	株手入れ(葉かき、摘花、ランナー整理等)、収穫・パック詰め作業、生産者圃場見学、集荷場見学
水田農業 グループ	研究員 津守春輝	農事組合法人 蜷木営農 (宇佐市)	R6.6.21 ～11.28 (うち 5 日間)	田植機苗箱補助、えだまめ・大豆雑草 抜き取り、大豆収穫期補助、大豆収穫 物運搬、麦類種子消毒作業、麦類播種 機補助、麦類除草剤散布補助、農業産 業廃棄物運搬、その他調整作業
果樹 グループ	研究員 河村奈歩	安部ぶどう園 (宇佐市)	R6.5.23～29 R6.7.20～29 R6.11.29～12.6 (うち 15 日間)	ジベレリン処理、摘粒、摘芯、枝管理、 収穫調整、枝抜き、幼木の管理、仮剪 定、H 型短梢剪定、長梢剪定、中梢剪 定、幼木の剪定
花き グループ	研究員 山崎香織	堀農園株式会社 (杵築市)	R6.6.27～7.25 (うち 5 日間)	ホオズキの葉落とし、芯止め、出荷調 整
		株式会社花未来 (国東市)	R6.12.16～12.20 (5 日間)	キクの選果、出荷準備
林業研究部	研究員 加藤優仁	有限会社キヨタ キナーセリー (日田市)	R6.10.16 ～R7.2.27 (うち 13 日間)	ヒノキ(断幹作業、下刈り作業、種取作 業、獣害対策)、スギ(出荷規格到達選 別、採穂、剪定、穂ごしらえ、鉢上げ作 業、苗木床替え作業)ほか

(3) 採用 5 年目研修(地域農業振興課との共催)

開催日	開催場所	受講生	内容
〔前期〕 R6.5.27	県庁舎本館 74 会議室	農業研究部 井 智大 果樹グループ 田邊秀和	農業振興現場における提案および事例紹介 地域農業振興課 主査 河野雅俊 提案資料作成演習 提案資料発表・意見交換
〔後期〕 R6.8.2	県庁舎本館 81 会議室	小平秀伍	口頭提案(ロールプレイング)

(4) 研究公正と研究倫理

受講期間	受講者	研修内容
R6.11.11 ～12.20	農林水産研究指導センターへ 新たに配属された職員 6 2 名 (会計年度任用職員を除く)	独立行政法人 日本学術振興会「研究倫理 e ラーニング」 受講コース:【研究者向け】事例で「学ぶ／考える」研究倫理 －誠実な科学者の心得－

(5) 研究員資質向上研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R6.9.20	水産会館	5 2 名	研究の物語を紡ぐ 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 グループワーク「研究発表リレー」

(6) 研究員資質向上研修・若手研究員研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R7.1.8	産業科学技術センター 多目的ホール	74名	試験研究におけるPDCAサイクル 産業科学技術センター センター長 宮沢哲 労働衛生の3管理 産業科学技術センター 主幹研究員 谷口秀樹 研究内容紹介（ポスター発表） 農業研究部 研究員 久保田 梨沙 農業研究部 研究員 川口 揚豊 水田農業グループ 研究員 高倉 脩 果樹グループ 研究員 久井田 曜陽 畜産研究部 研究員 石井 怜 きのこグループ 研究員 松本 滉平 北部水産グループ 研究員 平野 莊太郎 衛生環境研究センター 研究員 上田 将伍 衛生環境研究センター 研究員 安藤 大生 衛生環境研究センター 研究員 芝原 知弘 産業科学技術センター 主任研究員 真有 康孝

(7) 研究員資質向上研修 ～はやしセミナー～

開催日	開催場所	参加者数	内容
R7.3.17	農林水産研究指導センター 第3会議室	53名 (うちオンライン23名)	より良い共同研究のための研究倫理について 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭 伝達講習：農林水産関係若手研究者研修 水産研究部 研究員 村瀬直哉 伝達講習：農林水産関係中堅研究者研修 畜産研究部 主幹研究員 岡崎哲司 伝達講習：短期技術習得研修 農業研究部 主任研究員 田中啓二郎 記念講演「行政・普及試験研究のミスリードについて」 農林水産研究指導センター センター長 竹中和男

(8) 数理統計研修

開催日	開催場所	参加者数	内容
R6.11.27 ～11.29	県庁舎新館 OAプラザ	25名	R・RComander・Rstudioの動作確認、統計曼荼羅と統計学概論、データのばらつきの数値化、パラメトリック統計学、データ可視化からレポート作成まで、完全無作為化法の原理、多重比較の諸方法について、乱塊法とその応用、実験計画法と多重比較の実例、モデル選択論と一般化線形モデル、統計モデリングの実例、多変量データと多変量解析、質疑討論と個別コンサルティング 講師：人間環境大学 総合環境学部 フィールド自然学科 教授/学科長 三中信宏 氏

(9) 農林水産業スマート技術研修

研修期間	開催場所	受講者	内容
R6.12 ～R7.2	オンライン 動画学習	農業研究部 久保田 梨沙 研究企画担当 大成 忍	「基礎から学ぶ python」 python の基本的な操作等に関する解説、演習（四則演算、データ形式、リスト・辞書、条件、繰り返し、関数定義、多次元配列等 「python で学ぶ機械学習」 機械学習各手法の数学的な仕組み等の解説と python でのコード実装、演習
3.7、 3.12、3.19	オンライン 対面演習		実際のデータを用いた演習 株式会社すうがくぶんか 内場崇之 氏

(1 0) 出前はやしセミナー

開催日	開催場所	参加者数	内容
R7.2.12	畜産研究部	8 名	若手研究員を中心とした試験成績書・試験設計書作成 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭

(1 1) 若手研究者研修

開催日	開催場所	受講者	内容
R6.10.10 ～10.11	東京都 (農林水産省)	農業研究部 平木 薫 水産研究部 村瀬 直哉	農林水産省主催の農林水産関係若手研究者研修に参加 ・農林水産関係試験研究機関の若手研究者として最低限身に付ける必要のある知見の習得、能力の開発

(1 2) 中堅研究者研修

開催日	開催場所	受講者	内容
R7.1.21 ～1.22	東京都 (農林水産省)	農業研究部 上谷 麻梨恵 花きグループ 安部 良樹 畜産研究部 岡崎 哲司	農林水産省主催の農林水産関係中堅研究者研修に参加 ・農林水産関係試験研究機関の中堅研究者のキャリアパスとして、必要となる知見の習得や、企画・立案能力の開発

(1 3) 研究リーダー研修

開催日	開催場所	受講者	内容
R6.7.9 ～7.10	東京都 (農林水産省)	水田農業グループ 後藤 貴洋 北部水産グループ 倉橋 賢二郎	農林水産省主催の農林水産関係研究リーダー研修に参加 ・研究リーダーの任にある研究者に対し、研究リーダーとして必要な知見の習得及び能力の向上

(14) 短期技術習得研修

所属	役職/氏名	派遣先	研修期間	内容
農業研究部	主任研究員 田中啓二郎	公益財団法人 かずさDNA 研究所	R6.10.21 ～11.1 (10日間)	ゲノムワイド関連解析 (GWAS) による DNA マーカー開発の手法の習得
農業研究部	研究員 石本侑梨	一般社団法人 日本植物防疫 協会高知研究 所	R7.1.21 ～1.23 (3日間)	新農薬実用化試験に必要な調査技術 (実戦形 式)、農薬の施用方法及び接種・放虫方法、設 計書及び成績書の作成、などの事例から学習
農業研究部	研究員 中園佳那	農研機構九州 沖縄農業研究 センター暖地 畜産研究領域 飼料生産グル ープ	R6.9.30 ～10.11 (10日間)	AD 分析、培養試験、小型たい肥化装置の施用 方法
農業研究部	研究員 津田裕樹	一般社団法人 日本植物防疫 協会宮崎試験 場	R7.3.4 ～3.6 (3日間)	アブラナ科野菜に発生する病害について、典 型的な病徴を示す罹病株の診断、病原菌の分 離、伝染源の作成、望ましい接種方法、調査葉 位の考え方、対照薬剤・参考薬剤の考え方
果樹 グループ	研究員 久井田曜陽	長野県果樹試 験場 農研機構果樹 茶業研究部門	R6.10.17 ～10.18 (2日間)	トレリスの構造
畜産研究部	主任研究員 三村純一郎	第 16 回日本 ET 実務者ネッ トワーク研修、第 8 回日 本胚移植技術 研究会	R6.10.30 ～11.1 (3日間)	第 16 回日本 ET 実務者ネットワーク研修(地 域における ET 技術の連携、ET 業界の課題、 ET 技術における基本的な器具の取り扱い、 OPU の肝となる留意点など)、第 8 回日本胚移 植技術研究会(ウシ精子・卵子保存技術のアップ デート、精子幹細胞研究の歴史について、未 成熟卵母細胞の対外発育技術の開発、一経営 体における ET の取組ほか)
水産研究部	主任研究員 原 朋之	東京海洋大学 、日本獣医 2 生 命科学大学、 日本水産資源 保護協会	R6.8.19 ～8.30 (10日間)	令和 6 年度 養殖衛生管理技術者養成 本科実 習コース研修
水産研究部	研究員 和田宗一郎 研究員 渋谷駿太	東京海洋大学	R6.6.17 ～6.20 (4日間)	統計ソフト R と拡張パッケージ tidyverse を 利用した効率的かつ正確な作業とデータ生計 を行う方法、最小二乗法に基づく解析法を中 心とした仮説検定の概念や「R」での実施方法
		スマートレン タルスペース belle 関内	R6.7.8 ～7.9 (2日間)	相関関係、単回帰、重回帰、一般線形モデル、 一般化線形モデル

7 知的財産権の取得状況

令和6年度末までに登録されている特許及び品種は以下のとおりである。

(1) 特許登録

NO.	状況	登録		発明の名称	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日			
1	登録	3938786	H19. 4. 6	分娩予知通報システム	畜産研究部	50%
2	登録	4774484	H23. 7. 8	魚病防除剤及びその製造方法ならびに飼料	水産研究部	40%
3	登録	4783883	H23. 7.22	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
4	登録	4905649	H24. 1.20	魚用ワクチン、その製造方法、および魚類感染症の予防方法	水産研究部	1/3
5	登録	5422848	H25.12. 6	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	畜産研究部	50%
6	登録	5733829	H27. 4.24	凍結された精子用希釈液、及び、これを用いた人工授精方法	畜産研究部	50%
7	登録	5904369	H28. 3.25	精子保存液、精子保存方法及び人工授精方法	畜産研究部	50%
8	登録	6041238	H28.11.18	ブリ細菌性溶血性黄疸の病原体抗原ポリペプチド、及びこれを含む水産用ワクチン	水産研究部	20%
9	登録	6099048	H29. 3. 3	茶の施肥方法	農業研究部	50%
10	登録	6291669	H30. 2.23	転倒ます型流量計測装置	農業研究部	20%
11	登録	6704562	R2. 5.15	赤潮原因ラフィド藻類の光逃避行動を誘導する方法	水産研究部	25%
12	登録	6516252	H31. 4.26	根深ネギの大苗育成方法	農業研究部	100%
13	登録	6804060	R2.12. 4	ブタ精子凍結希釈液用添加剤及びブタ精子の凍結保存方法	畜産研究部	50%
14	登録	6738071	R2. 7.21	長尺育苗容器、連続集合鉢体苗を入れる装置、および、巻き取り器具	農業研究部	100%
15	登録	7142842	R4. 9.16	哺乳動物精子の分離方法、人工授精方法及び体外受精方法	畜産研究部	20%
16	登録	7267542	R5. 4.24	土壌水分の推定方法	農業研究部	40%

(2) 品種登録

	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
1	登録	15413	H19. 3.23	なし	豊里	果樹グループ	100%
2	登録	17734	H21. 3. 6	かんきつ	大分果研4号	果樹グループ	100%
3	登録	20806	H23. 5.24	トルコギキョウ	チェリービー	花きグループ	100%
4	登録	24322	H27. 5.20	トルコギキョウ	チェリービー2号	花きグループ	100%
5	登録	24323	H27. 5.20	トルコギキョウ	チェリービー3号	花きグループ	100%
6	登録	24345	H27. 6.19	ヤマジノギク	TOYO ロマン2号	花きグループ	100%
7	登録	26579	H30. 2. 9	大麦	トヨノホシ	水田農業グループ	70%
8	登録	28275	R3. 1.26	イチゴ	大分6号	農業研究部	100%
9	登録	28847	R4. 1.17	かんきつ	大分果研6号	果樹グループ	100%
10	出願公表			ブドウ	クリーノ	果樹グループ	20%
11	出願公表			ブドウ	ニヨンティーミ	果樹グループ	20%

	状況	登録		農産物の種類	品種名	所属機関	持分割合
		登録番号	登録年月日				
12	出願公表			ブドウ	エラシーノ	果樹グループ	20%
13	出願公表			ブドウ	カミノワール	果樹グループ	20%
14	出願公表			ブドウ	アティーノ	果樹グループ	20%
15	出願公表			ブドウ	ネオノワール	果樹グループ	20%
16	出願公表			しいたけ	大分林研き-2103	きのこグループ	100%
17	出願公表			イチゴ	堅しろろ	農業研究部	12%
18	登録 (韓国)	8768	R3.11.16	イチゴ	大分6号	農業研究部	100%
19	登録 (中国)	CAN 20184322.9	R6. 4.12	イチゴ	大分6号	農業研究部	100%

8 受賞、学位取得の状況

(1) 受賞者一覧

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞日	受賞の内容
林業研究部 主任研究員 松本 純	優秀論文賞	九州森林学会	R6.10.11	さし木造林の効果並びに優位性に関する研究貢献
林業研究部 業務技師 金古 美輝夫	研究支援功労者表彰	全国林業試験研究機関協議会	R7. 1.16	林業関係試験研究への支援

(2) 学位取得者

職名	氏名	取得年月日	取得大学	学位	学位論文テーマ
該当なし					

令和7年3月末時点での当センター在籍職員の学位（博士）保有者は10名である。

センター所属 : 保有10(2)※名

(農研1、果樹1、畜研2、林業1(1)※、水産5(1)※)

※()内は会計年度任用職員の内数

センター以外の所属 : 保有4名

9 予算概要

令和6年度当初予算（経常的経費[人件費を除く]）

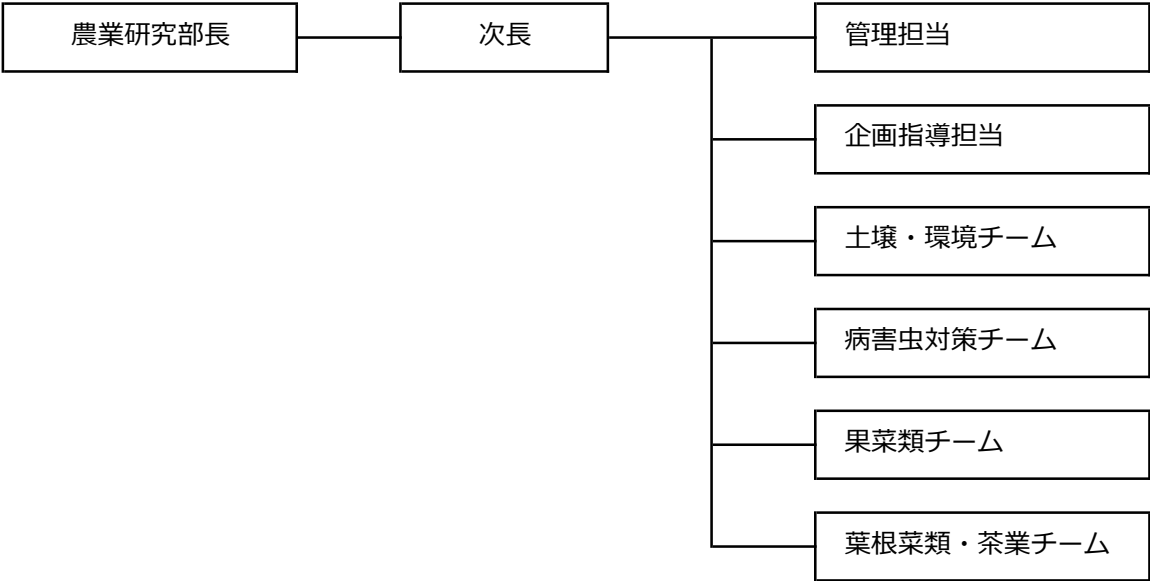
（単位：千円）

区 分	試験研究 調整費	管理運営費 + 管理予算	施設整備費	試験研究費	計
センター本部	11,803		83,936		95,739
農業研究部		91,993		22,232	114,225
水田農業グループ		40,242		12,905	53,147
果樹グループ		27,049		19,429	46,478
花きグループ		22,073		6,770	28,843
畜産研究部		93,545		138,285	231,830
林業研究部		26,911		6,891	33,802
きのこグループ		14,853		5,131	19,984
水産研究部		101,870		41,076	142,946
北部水産グループ		30,737		11,916	42,653
合計（農林水産研究指導センター）	11,803	449,273	83,936	264,635	809,647

Ⅱ－１ 農業研究部

１．組織および職員配置状況

（１）組織



（２）職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	
部長		1					1	
次長	1						1	兼センター管理調整監
管理担当	5						5	
企画指導担当		3					3	
土壌・環境チーム		7	1				8	
病虫害対策チーム		7			1		8	
果菜類チーム		9	1			2	12	
葉根菜類・茶業チーム		6		1	1		8	
計	6	33	2	1	2	2	46	

(3) 業務

県の短期集中県域支援品目を中心に、生産現場の課題解決に直結した研究開発を行い、得られた成果を速やかに生産者へ普及する。試験課題は生産者や消費者・実需者のニーズを的確に捉えたものとし、高品質・安定生産・省力化のための生産技術、ドローン等を活用した生育診断等のスマート農業技術、IPMに基づいた病虫害防除技術および地域未利用資源の新たな活用技術等を開発し実証する。またオリジナル品種の育成や優良品種の選定等に取り組む。

企画指導担当

- ①試験研究の企画調整と進行管理
- ②研究成果のとりまとめと活用
- ③農業情報（気象データ）の管理と提供
- ④研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①スマート農業など新技術を活用した野菜類栽培の省力化技術の研究
- ②農産物の安全・安心や環境に優しい農業生産技術の研究
- ③未利用資源の農業活用技術に関する研究
- ④土壌環境の改良に関する研究
- ⑤温室効果ガス排出削減に関する研究
- ⑥肥料取締分析と農業試験検査事務に係る分析

病虫害対策チーム

- ①IPMに基づいた病虫害防除技術の開発、実証
- ②難防除病虫害、薬剤耐性菌・抵抗性害虫対策に関する研究
- ③主要農作物の病虫害発生予察に関すること
- ④国内未発生病害虫に関する植物検疫
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①イチゴの新品種育成
- ②ベリーツ（大分6号）の収量向上技術に関する研究
- ③ベリーツ（大分6号）のウイルスフリー苗の供給
- ④夏秋ピーマンの収量向上技術に関する研究
- ⑤夏秋トマトの栽培環境改善技術に関する研究

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、カンショ、サトイモ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショのウイルスフリー苗の供給
- ③ドリンク茶の栽培技術および病虫害防除技術に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算			
実用化研究	○			畑地化水田における露地野菜の適地判別・品質向上　－高糖度かんしょ－	土壌環境	R5～R7
	○			「みどりの食料システム戦略」実現に向けた施肥技術の確立	土壌環境、 葉根菜茶、水田農業	R5～R7
	○	○		ドローンリモートセンシングによる大規模経営体の経営効率化支援技術の確立	土壌環境	R4～R6
	○			土壌水分・ECセンサによる新型かん水・施肥制御装置の開発	土壌環境	R4～R6
	○			高糖度かんしょで発生する腐敗果の低減対策技術の確立	病害虫	R6～R8
	○			みどり戦略に対応した夏秋ピーマンにおける総合防除体系の確立	病害虫	R6～R8
	○			湿度に着目した「ベリーツ」の病害虫発生抑制技術の開発	病害虫	R4～R6
	○			夏秋トマト栽培で問題となるコナジラミ類の防除技術の開発	病害虫	R4～R6
	○			酷暑にも負けない夏秋ピーマン産地を支援する栽培技術の確立	果菜類	R6～R8
	○			夏秋トマトの栽培環境改善技術の確立	果菜類	R5～R7
	○			ベリーツの特性を活かした早期収量向上技術の確立	果菜類	R5～R7
	○			省力栽培可能なイチゴ品種の育成と次世代育種技術の導入	果菜類	R4～R6
	○			根深ネギの肥料コスト削減に向けた安定生産技術の確立	葉根菜茶	R6～R8
	○			土地利用型作物の優良種苗生産技術の確立	葉根菜茶	R4～R6
	○			大規模経営に対応したドリンク茶生産管理技術の確立	葉根菜茶	R4～R6
		○		「大分6号（ベリーツ）」における農業用ヒートポンプを利用した冷房実証	果菜類	R6～R7
基礎調査研究		○		カーボンニュートラル等基礎調査事業	土壌環境	R6～R9
	○			優良種苗生産事業（イチゴ）	果菜類	－
	○			カンショ優良系統の選定及び元苗供給	葉根菜茶	－
		○		茶試験圃場の育成	葉根菜茶	－
			○	病害虫発生予察事業	病害虫、葉根菜茶	－
			○	委託薬剤・肥料試験	土壌環境、 病害虫、葉根菜茶	－
			○	侵入警戒調査事業	病害虫	－
			○	農業残留特殊調査（マイナー作物登録拡大試験）	病害虫	－
		○		下水汚泥資源の活用促進に係るMAP混合液肥の製造利用技術に関する実証研究	土壌環境	R5～R7

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和5年度農業研究部試験研究成績書 CD版	R7.3	496	38
令和6年度植物防疫事業成績書（年報）CD版	R7.3	85	75

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
玉野井昭・祖田嘉教・古閑凜太郎・山元美祐・ <u>山崎修一</u>	大分県におけるピーマン斑点病菌の薬剤感受性検定について（講要）	九州病害虫研究会報	第70巻	58
伊東拓真・伊藤玲央・平木薫・ <u>山崎修一</u>	シソにおけるアザミウマ類の薬剤感受性検定と非化学的防除資材の防除効果について（講要）	九州病害虫研究会報	第70巻	60
平木薫・伊藤玲央・伊東拓真・ <u>山崎修一</u>	タバコカスミカメを利用した夏秋トマトにおけるコナジラミ類の防除について（講要）	九州病害虫研究会報	第70巻	63
伊東拓真・ <u>山崎修一</u> ・伊藤玲央	シソにおけるアザミウマ類の発生とスワルスキーカブリダニを活用した総合防除について	植物防疫	第79巻 第1号	45-50
<u>玉野井昭</u> ・ <u>山崎修一</u>	大分県におけるピーマン斑点病菌の薬剤感受性について	植物防疫	第79巻 第2号	67-75

※ 下線は当センター職員

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.9.25-26	九州病害虫防除推進協議会第2回技術研修会	<u>津田裕樹</u>	根深ネギに発生する病害虫の薬剤感受性検定
R6.12.12-13	日本土壌肥料学会九州支部例会	<u>後藤航大</u>	AIを活用したキャベツの出荷サイズ予測技術の開発
R6.12.12-13	日本土壌肥料学会九州支部例会	<u>加藤貴浩</u>	転炉スラグで酸性矯正した黒ボク土圃場における様々な品目の収量・品質等の評価
R6.12.19-20	第10回生態と防除研究会	<u>山崎修一</u>	ピーマン果実に発生する軟腐病の生態と防除 -病原菌を運ぶ黒幕は誰だ？-
R6.12.19-20	第10回生態と防除研究会	<u>玉野井昭</u>	イチゴ灰色かび病の防除戦略 -薬剤選定と環境制御の重要性-

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R7.2.6	九州病害虫研究会第104回研究発表会	平木薫・伊藤玲央・津田裕樹・伊東拓真・ <u>山崎修一</u>	夏秋トマト栽培におけるタバコカスミカメの密度抑制について
R7.3.31	鉄鋼スラグ肥料WG最終報告会	<u>加藤貴浩</u>	農業分野における転炉スラグの活用拡大に関する技術確立

※ 下線は当センター職員

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター研究活動報告会	R6.11.18	大分県水産会館	9	87
第10回生態と防除研究会	R6.12.19-20	大分県水産会館	11	73
令和6年度農林水産部 普及・研究活動報告会 ※	R7.1.17	県庁	1	21

※ 畑地化水田における「高糖度かんしょ」の土壌物理性改良方法の検討

発表者 土壌・環境チーム 主幹研究員 影井 雅夫

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.4.30	トマトキバガ防除対策会議	県庁	40	主催：地域農業振興課（安全農業班）
R6.5.17	土壌断面調査研修	大分市上横瀬現地 圃場	15	主催：中部振興局
R6.5.30	専門技術研修（基礎：野菜）	農業研究部	14	主催：地域農業振興課
R6.5.31	専門技術研修（基礎：野菜）	農業研究部	10	主催：地域農業振興課
R6.6.5	専門技術研修（安全農業等・1年目）	農業研究部 第3会議室	18	主催：地域農業振興課（安全広域）
R6.7.1	豊肥局 土壌診断研修会	豊肥振興局 会議室	25	主催：豊肥振興局
R6.7.23	課題解決研修（花き等・土壌消毒）	花きグループ	22	主催：地域農業振興課（花き広域）
R6.7.31	おおいたの農業農村施策研修会	土地改良会館	50	主催：農地計画課長
R6.7.31	令和6年度いちごIPM技術研修会	J A おおいた本店 3階会議室	50	主催：地域農業振興課（イチゴ広域）
R6.8.6	いちご勉強会（土壌消毒）	オンライン	10	主催：地域農業振興課（イチゴ広域）
R6.9.3	専門技術研修2年目（基礎：野菜）	農業研究部	3	主催：地域農業振興課
R6.9.4	専門技術研修（安全農業〈病害虫〉2年目）	農業研究部	5	主催：地域農業振興課
R6.9.5	専門技術研修（基礎：野菜）	農業研究部	8	主催：地域農業振興課
R6.9.6	専門技術研修（安全農業〈病害虫〉3年目）	農業研究部	10	主催：地域農業振興課
R6.9.19	専門技術研修（茶）	農業研究部	4	主催：地域農業振興課
R6.10.10	土壌・病害虫に関する研修会	農業研究部	40	大分県肥料植物防疫協会
R6.10.16	専門技術研修（安全農業－土壌肥料・3年目）	農業研究部	6	主催：地域農業振興課
R6.10.31	全国土壌改良資材協議会秋の合同現地研修会	別府市ホテルサン バリーアネックス	27	全国土壌改良資材協議会、全国食品・ 畜産有機資源リサイクル協会、全国 バーク堆肥工業会
R6.11.8	専門技術研修（基礎1年目：野菜）	農業研究部	6	主催：地域農業振興課
R6.11.13	専門技術研修（土壌、2年目）	農業研究部	10	主催：地域農業振興課
R6.11.14	専門技術研修（土壌、2年目）	農業研究部	10	主催：地域農業振興課
R6.11.19	専門技術研修（基礎1年目：野菜）	農業研究部	10	主催：地域農業振興課

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.11.20	大分県土壌医の会研修会	豊後大野市大野町 公民館	20	主催：大分土壌医の会
R6.11.25	豊後高田市指導農業士・新規就農者・青年農業者研修会及び意見交換会	豊後高田市コスモ スホール	21	主催：豊後高田市、北部地域就農がト ンター所
R6.12.10	施肥防除対策研修会	大分県教育会館	100	主催：地域農業振興課、大分県肥料植 物防疫協会
R6/12/19 ～20	第10回生態と防除研究会	大分県水産会館	73	主催：生態と防除研究会、共催：大分 県農林水産研究指導センター農業研究
R7.1.17	サトイモ種芋選定講習会	農業研究部	24	主催：豊肥振興局
R7.2.5	農業指導士認定研修会	JAおおいた本店	100	主催：地域農業振興課、大分県肥料植 物防疫協会
R7.2.6	令和7年度大分シャインマスカット若手 生産者協議会通常総会及び室内研修	JA全農おおいた	40	主催：大分シャインマスカット若手生 産者協議会、大分県園芸活性化協議会
R7.2.18	病虫害防除の基礎研修会	南部振興局	10	主催：南部振興局
R7.3.5	土壌断面調査研修	宇佐市富山現地圃 場	5	主催：北部振興局
R7.3.12	花木土づくり研修会	宇佐市金丸現地圃 場、公民館	40	主催：地域農業振興課
R7.3.12	臼杵市ピーマン部会役員会	JAおおいた南部支 所	15	主催：野津町ピーマン部会、共催：JA おおいた南部支所、中部振興局
R7.3.12	中部振興局管内ファーマーズスクール (FS) 合同研修会	中部振興局	20	主催：中部振興局
R7.3.17	ほんまもん農産物認証生産者研修	中部振興局	20	主催：「ほんまもんの里・うすき」農 業振興協議会（臼杵市役所）

（２）受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	8	88	
団体等職員	0	0	
普及指導員	1	20	
学生	1	25	※大学
児童・生徒	0	0	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	5	21	※一般来場者
計	15	154	

（３）指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
小ねぎ圃場における土壌水分の動態把握技術の導入	小ネギ栽培の播種から栽培初期の水管理方法の効率化を図るため、土壌水分センサを用いた土壌水分の動態把握技術の導入を図る。	宇佐市と国東市の2カ所にセンサを設置し、データを取得した。追加で場内ハウスでpF計を設置し、データを取得した。
操作が簡易な画像処理・生育診断ソフト（白ねぎ）の導入推進	当チームが開発した「操作が簡易な画像処理・生育診断ソフト（白ねぎ）」の普及現場における導入を推進する。	振興局および試験場で出荷前（約1ヶ月）の白ねぎ圃場を空撮し、収量予測を行った。（1地域4地点）

Ⅱ－２ 農業研究部水田農業グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務 職員	技術 職員	技師	労務 技師	業務 技師	農業 技術員	計	備 考
グ ル ー プ 長		1					1	
管 理 担 当	3						3	
企 画 指 導 担 当		1					1	
水 田 農 業 チ ー ム		7	1			4	12	
計	3	9	1	0	0	4	17	

(3) 業務

- ① 稲・麦・大豆の品種の育成・選定、栽培技術改善
- ② 稲・麦・大豆の優良種子生産
- ③ 水田畑地化を実現するための技術開発
- ④ 水田大規模経営体の生産性向上を目的とした技術開発

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算 課			
実用化 研究	○	○		播種適期の拡大と排水対策による麦類の収量安定生産技術の確立	水田農業	H30～R6
	○	○	○	水稲・麦・大豆の品種選定	水田農業	R1～R6
	○	○		水田農業転換期を支える多収型優良品種の導入に向けた栽培法の確立	水田農業	R1～R6
	○			ドローンを活用した高温登熟耐性品種「なつほのか」の栽培法の確立	水田農業	R4～R6
	○			水田農業経営体向け畑地化推進品目えだまめ・はとむぎ栽培法の確立	水田農業	R4～R6
	○			「みどりの食料システム戦略」実現に向けた施肥技術の確立	水田農業、 土壌環境、葉根菜茶	R5～R7
	○	○		いつでも直播：担い手と環境にやさしい稲作革命	水田農業	R6～R10
	○	○		トビイロウンカ抵抗性イネ品種の実用化に向けた育種基盤の構築	水田農業	R6～R10
基礎 調査 研究	○		○	主要農作物等種子対策事業	水田農業	—
	○			水稲・麦・大豆の作柄判定試験	水田農業	—
	○		○	水稲関係除草剤第2次適用性試験	水田農業	—

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
水稻早生品種「なつほのか」栽培のポイント（完了）	R7.3	6	15,000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
長島 泰一	ムギ生育初期の牛糞堆肥施用	最新 農業技術 作物	vol.17	107-113
長島 泰一	オオムギ生育初期における牛ふん堆肥の施用が作物の生育および収量に与える影響	農業技術大系『作物編』	第4巻 ＜ムギ＞ 施肥と土壌管理	技 174の 1の2 - 技174の 1の8
長島 泰一	ムギ生育初期の牛糞堆肥施用	みんなの有機農業技術大事典	-	301-307
長島 泰一	AP機の可能性を探る可変施肥剤散布実証試験	club SKYTECH	-	1-5
平野 貴弘・渋谷 哲平・野村 充・内田 多香子	大分県における2022年産水稻品種「なつほのか」の倒伏発生要因	九州作物学会報	第1号 （令和6年8月）	14-16

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.9.10	九州沖縄農業試験研究推進会議	長島 泰一	麦で利用可能なスマート農業技術の開発状況
R7.3.16	令和6年度 九州作物学会	平野 貴弘	ダイズの早播条件下における栽植密度と摘心が生育および収量に及ぼす影響

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター研究活動報告会	R6.11.18	大分県水産会館	9	87
令和6年度農林水産部 普及・研究活動報告会 ※	R7.1.17	県庁	1	21

※ 「なつほのか」の導入・普及を支える試験研究の取り組み
発表者 水田農業チーム 研究員 渋谷 哲平

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.5.24	第1回乾田直播研修	水田農業グループ	6	地域農業振興課
R6.6.27	第3回乾田直播研修	水田農業グループ	9	地域農業振興課
R6.6.27	大豆種子生産者講習会	中津市(湯屋公民館)	15	北部振興局
R6.8.26	大豆新品種研修会	竹田市役所久住支所	30	豊肥振興局
R6.8.27	大豆新品種「ちくしB5号」技術者研修会	宇佐市栽培圃場	45	水田畑地化・集落営農課
R6.8.27	第1回普通作物課題解決研修	水田農業グループ	20	地域農業振興課
R6.9.3	ちくしB5号導入、大豆栽培研修会	ウサノピア	110	北部振興局
R6.9.13	農作物共済損害防止講習会	農業共済 北部支所	60	県農業共済組合
R6.12.11	「なつほのか」西部地区推進研修会	日田市複合文化施設 AOSE	28	西部振興局
R7.1.16	麦栽培研修会	豊後大野市(千歳公民館)	30	県農協豊肥営農経済センター、 豊肥振興局
R7.1.22	原種生産状況視察(愛媛県より)	水田農業グループ	1	愛知県試験場
R7.2.13	良食味米コンテスト	豊肥振興局	11	豊肥振興局
R7.2.27	麦作先進地視察（香川県さぬき市より）	水田農業グループ	19	香川県 (生産者、JA、普及指導員)
R7.2.28	第2回普通作物課題解決研修	水田農業グループ	12	地域農業振興課
R7.3.11	大豆「ちくしB5号」への品種転換に係る 研修会	大分県農協国東事務所	20	県農協東部営農経済センター、 東部振興局

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	6	275
団体等職員	8	34
普及指導員	12	107
学生	0	0 ※大学
児童・生徒	0	0 ※小中高校
海外からの視察者	0	0
その他	0	0 ※一般来場者
計	26	416

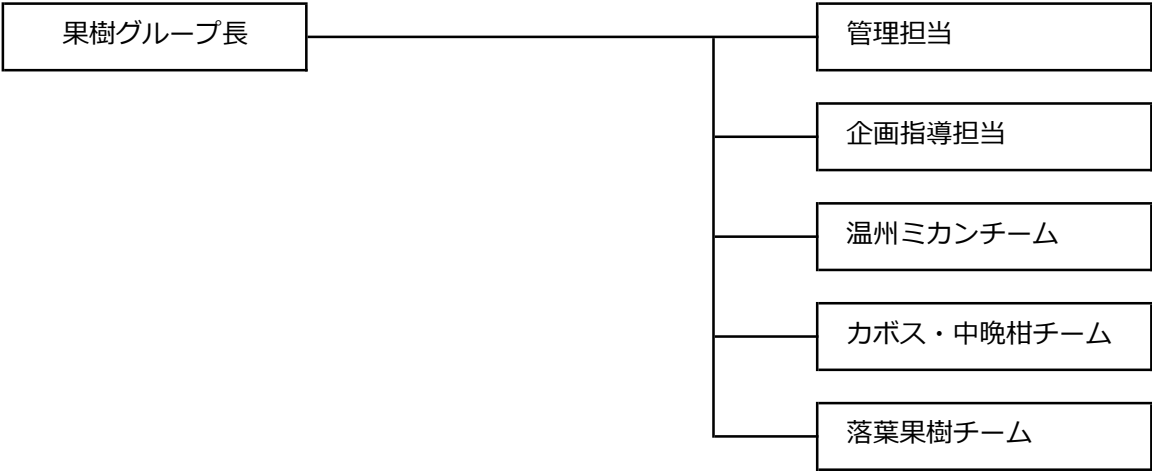
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
水稻早生品種「なつほのか」の実証圃設置および栽培指導	現地実証圃での栽培技術指導を行い、令和7年度の面積拡大を図る。	県下全域16箇所の現地実証および巡回指導を行い、栽培暦、栽培マニュアルを作成した。
ちくしB5号の展示圃設置および栽培指導	現地展示圃での栽培技術指導を行い、令和7年度の全面切り替えを図る。	県下全域9箇所の現地展示および巡回指導を行い、栽培マニュアルを作成した。

Ⅱ－３ 農業研究部果樹グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務 職員	技術 職員	技師	労務 技師	業務 技師	農業 技術員	計	備 考
グ ル ー プ 長		1					1	
管 理 担 当	1						1	
企 画 指 導 担 当		1					1	
温 州 ミ カ ン チ ー ム		4		1		1	6	
カボス・中晩柑チーム		3		1			4	
落 葉 果 樹 チ ー ム		5			1	2	8	
計	1	14	0	2	1	3	21	

(3) 業務

- ①温州ミカンの露地栽培技術、スマート農業（ドローン）に関する試験研究
- ②カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ③落葉果樹の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ④ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究
- ⑥生産者に対する研修及び現地指導

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算 課			
実用化研究	○			スマート技術の活用と新植栽方式による温州みかんの省力化技術の開発	温州ミカン	R4～R6
	○			ハウスミカンの着花安定と垣根仕立て栽培の低樹高省力栽培技術の確立	温州ミカン	R3～R6
	○			県南カンキツ主要品種の生産拡大に向けた栽培技術の開発	カボス・中晩柑	R5～R7
	○			カボス「大分果研6号」の産地導入に向けた生産貯蔵技術の確立	カボス・中晩柑	R4～R6
	○			中秋節需要に応じたナシの大玉生産と新たな花粉生産技術の開発	落葉果樹	R6～R8
	○			ブドウの高収量栽培、早期成園化と新品種の安定生産技術の確立（第2期）	落葉果樹	R5～R7
	○			新規参入者にやさしいキウイフルーツ栽培技術開発	落葉果樹	R4～R6
		○		施設果樹栽培におけるスマートCO ₂ 施用技術の確立と実証	温州ミカン	R6～R8
		○		高温でも着色がよく収穫適期を判定しやすいブドウ品種候補の開発	落葉果樹	R6～R7
基礎調査研究	○			カンキツ（国東）	温州ミカン	R4～R6
	○			系統適応性検定試験 カンキツ（津久見）	カボス・中晩柑	
	○			落葉果樹（宇佐）	落葉果樹	
	○	○	○	果樹の病虫害防除並びに カンキツ（国東）	温州ミカン	R4～R6
	○	○	○	植物成長調整剤に関する カンキツ（津久見）	カボス・中晩柑	
	○		○	試験 落葉果樹（宇佐）	落葉果樹	
	○			カンキツ（国東）	温州ミカン	—
	○			生態調査 カンキツ（津久見）	カボス・中晩柑	—
	○			落葉果樹（宇佐）	落葉果樹	—
	○			優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の供給及び一般管理	落葉果樹	—

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
なし			

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
小平 秀伍	果樹園管理ポイント 中晩柑類	果実日本	80巻 1月号	3
小平 秀伍	果樹園管理ポイント 中晩柑類	果実日本	80巻 3月号	2

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.11.4	一般社団法人園芸学会令和 6 年度秋季大会	永松麻友香	施設カンキツの樹形や散布方法の違いに 着目した自走式防除機の性能評価
R7.3.14	日本農業気象学会2025年全国 大会	矢野 拓	カンキツ'不知火'における葉面積指数の非 破壊推定

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター 研究活動報告会	R6.11.18	大分県水産会館	9	87

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.5.8	果樹専門技術研修（常緑）栽培基礎	温州ミカンチーム	5	地域農業振興課
R6.5.17	シトラススクール	津久見市	15	津久見市農林水産課
R6.5.31	ミカンバエ防除対策推進会議	WEB	20	地域農業振興課
R6.6.4	常緑果樹専攻学生視察研修会	カボス・中晩柑チーム	2	農業大学校
R6.6.12	中晩柑研修会	津久見市	30	県南柑橘研究会
R6.6.21	シトラススクール	津久見市	15	津久見市農林水産課
R6.7.4	津久見市柑橘組合長会議	津久見市	15	津久見市農林水産課
R6.7.19	シトラススクール	津久見市	10	津久見市農林水産課
R6.7.31	アライグマ防除研修会	落葉果樹チーム	10	森との共生推進室
R6.8.5	果樹専門技術研修（常緑）結実管理	温州ミカンチーム	10	地域農業振興課
R6.8.23	課題解決研修（ブドウ）	落葉果樹チーム	15	地域農業振興課
R6.9.21	大分県なし・ぶどう品評会	大分市	15	大分県園芸活性化協議会
R6.9.27	課題解決研修（極早生ウンシュウ）	温州ミカンチーム	5	地域農業振興課
R6.10.4	みかん園等検査識別研修	大分市	15	地域農業振興課
R6.10.10	土壌肥料・病害虫に関する研修会	豊後大野市	20	大分県肥料植物防疫協会
R6.12.6	大分県ブドウ研究会研修会	JAおおいた安心院支店	50	大分県ぶどう部会研究部
R6.12.17	安心院ブドウ部会生産者大会	JAおおいた安心院支店	30	安心院ブドウ部会
R6.12.19	果樹病虫害防除暦検討会	JAおおいた本店	25	大分県園芸活性化協議会
R6.12.22	果樹病虫害防除暦検討会	JAおおいた本店	30	大分県園芸活性化協議会
R6.12.24	課題解決研修（ナシ）	由布市庄内	14	地域農業振興課
R7.1.23	先進農業事例研修	カボス・中晩柑チーム	9	農業大学校

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R7.1.24	シトラススクール	津久見市	13	津久見市農林水産課
R7.2.5	県南果樹技術者協議会2月例会（雑草管理）	県南柑橘選果場	10	県南果樹技術者協議会
R7.2.6	大分シャインマスカット若手生産者研修会	大分市	25	大分シャインマスカット若手生産者協議会
R7.2.7	ミカンバエ防除対策関係者会議	WEB（大分市）	15	地域農業振興課
R7.2.17	果樹専門技術研修（常緑）剪定	温州ミカンチーム	20	地域農業振興課
R7.2.17	県南柑橘部会研究会・剪定講習	津久見市	40	大分県園芸活性化協議会
R7.3.7	ハウス加温機整備研修	落葉果樹チーム	11	
R7.3.13	カボス剪定研修	カボス・中晩柑チーム	1	東部振興局
R7.3.21	大分県ブドウ研究会研修会	JAおおいた安心院支店	50	大分県ぶどう部会研究部

（２）受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	20	297	
団体等職員	12	50	
普及指導員	14	30	
学生	9	33	※大学
児童・生徒	1	17	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	7	39	※一般来場者
計	63	466	

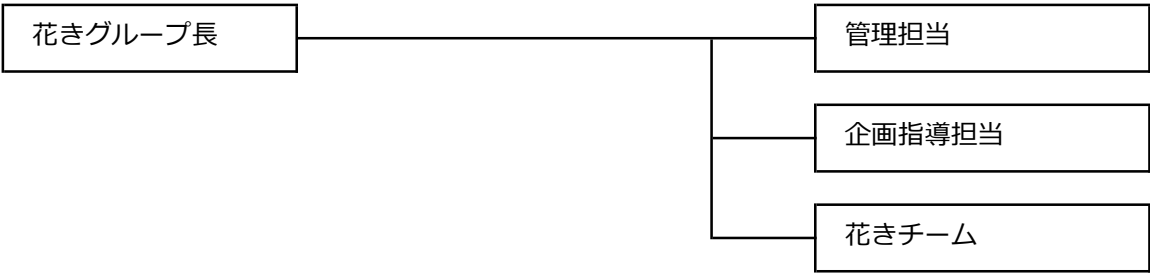
（３）指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

Ⅱ－４ 農業研究部花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
グループ長		1					1	
管理担当	1						1	
企画指導担当		1					1	
花きチーム		6	2		1		9	
計	1	8	2	0	1	0	12	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発
- ③花きの研究成果の現地普及
- ④優良種苗の供給
- ⑤花き指導者、生産者に対する研修および現地指導

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算			
実用化研究	○			キク類、ホオズキ等における化学農薬低減防除体系の構築	花き	R6～R8
	○			地域に適した有望花木類の品目選定と栽培技術確立	花き	R6～R8
	○			「おおいたのホオズキ」多様化戦略	花き	R5～R7
	○			トルコギキョウの安定生産技術と新たな栽培技術の確立	花き	R5～R7
	○			バイオテクとICTの融合による効率的育種技術の開発	花き	R5～R7
	○			情勢変化に対応したキクの栽培技術確立	花き	R4～R6
	○			スイートピーのスマート管理に向けたかん水・施肥技術の確立	花き	R4～R6
基礎調査研究	○			イチゴ茎頂培養によるウィルスフリー苗の養成	花き	—
	○			優良種苗の供給	花き	—

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和5年度花きグループ試験成績書	R7.3.31	93	HP掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	刊行年月日	巻(号)	掲載頁
なし				

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R7. 1.29 ～1.30	令和6年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	濱野琴美	シンクロトロン光による突然変異育種～輪ギク～
R7. 1.29 ～1.30	令和6年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	三ノ宮里奈	「おいいたのホオズキ」多様化戦略 周年出荷技術の確立～生育限界条件～
R7. 1.29 ～1.30	令和6年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	山崎香織	ヤマジノギクの育種について
R7. 1.29 ～1.30	令和6年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	安部良樹	シンクロトロン放射光を用いた突然変異個体の獲得(ヤマジノギク)

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
なし				

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.4.24	スイートピー実績検討会（宇目）	佐伯市	15	JA花き販売対策協議会
R6.5.16	佐伯豊南高校との花木類打合せ	佐伯豊南高校	8	佐伯豊南高校
R6.5.28	ホオズキ担当者会議	全農おおいた	28	JA花き販売対策協議会
R6.5.13	ホオズキ、シャクヤク検討会	大分園芸花市場	9	西部振興局
R6.5.30	令和6年度産おおいたのほおずき取引会議	全農おおいた	38	JA花き販売対策協議会
R6.6.18	弱毒ウイルス接種ホオズキ対応	佐伯市宇目	2	南部振興局
R6.6.26	花き課題解決研修	竹田市	15	地域農業振興課
R6.7.23	花き課題解決研修	花きグループ	19	地域農業振興課
R6.8.1	植物バイオ技術研修（佐伯豊南高校）	花きグループ	7	佐伯豊南高校
R6.8.15	花き専門技術研修	花きグループ	4	地域農業振興課
R6.8.22	花き専門技術研修（基礎）	花きグループ	3	地域農業振興課
R6.10.3	R6年度ホオズキ実績会議	全農おおいた	39	JA花き販売対策協議会
R6.11.14	スイートピー現地巡回、取引会議	花きグループ	20	JA花き販売対策協議会
R6.11.22	種苗供給連絡協議会	JAおおいた本店	28	園芸振興課
R6.12.12	プリンセスリーフ研究会 ハボタン出荷目揃会	花きグループ	23	園芸活性化協議会

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	13	48	
団体等職員	1	10	
普及指導員	2	9	
学生	0	0	※大学
児童・生徒	1	90	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	511	1423	※一般来場者
計	528	1580	

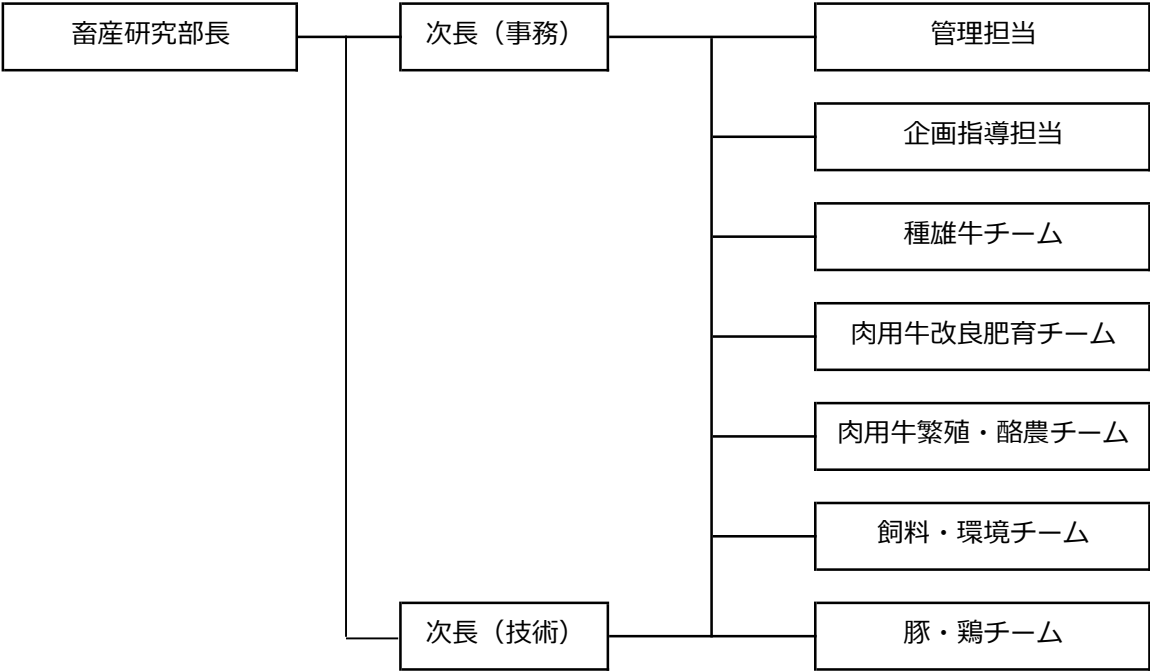
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II – 5 畜産研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務 職員	技術 職員	技師	労務 技師	業務 技師	農業 技術員	計	備 考
部長		1					1	
次長	1	1					2	
管理担当	3	1					4	
企画指導担当		2					2	
種雄牛チーム		2	1			3	6	
肉用牛改良肥育チーム		4	2	1		1	8	
肉用牛繁殖・酪農チーム		6	5			4	15	
飼料・環境チーム		4	2			2	8	
豚・鶏チーム		5	2	3		1	11	
計	4	26	12	4	0	11	57	

(3) 業務

- ①肉用牛の改良増殖、種雄牛造成及び精液供給
- ②肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ④牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤豚の育種、飼養技術及び精液供給
- ⑥家きんの育種及び飼養技術

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算 課			
実 用 化 研 究	○			黒毛和種雌牛における新たな繁殖性改善技術の検討	肉酪	R6～R8
	○			枝肉の品質向上を図る肥育技術の検討～全国トップレベルの肉用牛産地づくりを目指して～	肉酪	R6～R8
	○			高能力な乳用後継牛の確保に向けた受胎率の高い体外受精卵生産方法の検討	肉酪	R4～R6
	○			飼料作物の適切な鶏ふん堆肥利用における農家現場への導入実証	飼料環境	R6～R8
	○			牧草地の低コスト維持管理技術の検討	飼料環境	R6～R8
	○			飼料価格高騰に対応した「おおい冠地どり」の早期出荷技術の開発	豚鶏	R6～R8
	○	○		越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発	飼料環境	R4～R8
基 礎 調 査 研 究	○			種雄牛検定 直接法	改良	長期
	○			種雄牛検定 現場後代法	改良	長期
	○	○		大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証	改良	長期
	○	○		和牛ゲノムデータ駆動型による未診断疾患の遺伝的原因の解明手法の開発「ウシ臨床検証」	改良	R5～R7
	○	○		牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験	飼料環境	長期
	○			原種豚の改良維持及び増殖	豚鶏	長期
	○			原種禽の系統維持及び増殖	豚鶏	長期

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
2024大分県黒毛和種種雄牛 ※畜産研究部監修	R6.8.1	38	1,000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	刊行年月日	巻(号)	掲載頁
なし				

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.7.11	令和6年度 豚の新育種技術に関する研究会	岡崎哲司	凍結精液の製造及び利用法
R6.10.29	令和6年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会及び研修会	加藤洋平	近年の大分県有種雄牛造成の成果と利用状況について
		藤田和男	黒毛和種去勢肥育牛における早期出荷技術の検討
		波津久香織	肥育豚への粳米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立
		照山友美子	大分県飼料作物奨励品種の選定について
R6.11.18	令和6年度 大分県農林水産研究指導センター研究状況報告会	波津久香織	肥育豚への粳米サイレージおよび未利用資源給与技術の確立
R7.3.19	2025年度日本草地学会 宮崎大会	石井 怜	九州高標高地における採草地の草地メンテナンス技術

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター研究状況報告会	R6.11.18	大分県水産会館	1	87

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア 講習会、研修会等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 6.21	三重第一小学校4年生「職業講話」	豊後大野市内	20	豊後大野市立三重第一学校
R6. 9.17	令和6年度大分県家畜商講習会	大分市内	10	大分県農林水産部
R6.11. 8	令和6年度種雄牛展示説明会	畜産研究部	30	畜産研究部
R6.12.18	三重東小学校5年生「職業講話」	豊後大野市内	20	豊後大野市立三重東小学校
R7. 2.10	清川小中学校7年生「職業講話」	豊後大野市内	20	豊後大野市立三重東小学校
R7. 2.14	豊後大野市家畜人工授精師会研修会	豊後大野市内	30	豊後大野市家畜人工授精師協会
R7. 2.19	肉用牛改良研修	別府市内	110	大分県肉用牛改良組合連合会
R7. 2.20	竹田市畜産座談会	竹田市内	100	竹田市畜産振興協議会
R7. 2.21	西部家畜人工授精師会研修会	豊後大野市内	20	大分県西部家畜人工授精師協会
R7. 2.25	竹田市畜産座談会	竹田市内	100	竹田市畜産振興協議会
R7. 2.28	削蹄講習会	畜産研究部	4	畜産技術室
R7. 3. 3	短期肥育技術研修会	宇佐市内	50	肉用牛振興協議会
R7. 3. 6	竹田市畜産座談会	竹田市内	50	竹田市畜産振興協議会
R7. 3. 7	令和6年度大分県自給飼料増産セミナー	大分県教育会館	40	大分県草地飼料協会
R7. 3.14	中津下毛和牛改良組合研修会	中津市内	20	中津下毛和牛改良組合
R7. 3.25	竹田市畜産座談会	竹田市内	30	竹田市畜産振興協議会

イ 畜産共進会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 4.21	第31回大分県ブラック&ホワイトショウ	大分市内	-	大分県乳牛改良連絡協議会
R6. 7.18	竹田市畜産共進会直入地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R6. 7.25	竹田市畜産共進会久住地域予選会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R6. 9. 4	第17回豊後大野市畜産共進会	豊後大野市内	-	豊後大野市畜産振興協議会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 9. 4	第58回日田畜産品評会	玖珠町内	-	日田地域畜産振興会
R6. 9. 5	竹田市畜産共進会	竹田市内	-	竹田市畜産振興協議会
R6. 9. 6	第20回佐伯市畜産共進会	佐伯市内	-	佐伯市畜産振興会
R6. 9. 6	第119回玖珠郡畜産品評会	玖珠町内	-	玖珠群地域畜産振興会
R6. 9.13	第57回大分地方畜産共進会	由布市内	-	中央地域畜産振興会
R6.10. 1 ～10. 5	第85回大分県畜産共進会肉牛の部	豊後大野市内	-	第85回大分県畜産共進会
R6.10. 6	第85共進会乳用牛の部	大分市内	-	第85回大分県畜産共進会
R6.10.19	第85回大分県畜産共進会肉用牛の部	玖珠町内	-	第85回大分県畜産共進会
R6.11. 3	第8回九州連合ホルスタイン共進会	熊本県	-	九州・沖縄地区酪農団体協議会

ウ 精液譲渡

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 4. 2	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	5	
R6. 4. 8	西部地域精液譲渡	玖珠家保	8	
R6. 4.15	北部地域精液譲渡	宇佐家保	8	
R6. 4.22	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	12	
R6. 4.24	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	18	
R6. 5. 8	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	15	
R6. 5.14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	5	
R6. 5.16	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	3	
R6. 5.17	西部地域精液譲渡	玖珠家保	15	
R6. 6. 4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	5	
R6. 6. 7	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	5	
R6. 6.13	北部地域精液譲渡	宇佐家保	7	
R6. 6.24	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	13	

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 6.26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	11	
R6. 7. 8	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	7	
R6. 7.17	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	4	
R6. 7.18	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	12	
R6. 7.19	西部地域精液譲渡	県酪玖珠支所	12	
R6. 8. 5	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	5	
R6. 8. 7	西部地域精液譲渡	玖珠家保	10	
R6. 8.16	北部地域精液譲渡	宇佐家保	5	
R6. 8.22	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	9	
R6. 8.26	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	7	
R6. 9. 4	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	10	
R6. 9.10	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	9	
R6. 9.13	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R6. 9.17	西部地域精液譲渡	玖珠家保	11	
R6.10. 2	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	4	
R6.10. 8	西部地域精液譲渡	玖珠家保	24	
R6.10.15	北部地域精液譲渡	宇佐家保	18	
R6.10.16	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	10	
R6.10.21	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	21	
R6.10.22	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	10	
R6.10.24	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	19	
R6.11. 1	西部地域精液譲渡	玖珠家保	3	
R6.11. 7	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	8	
R6.11.14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	7	

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.11.15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	4	
R6.11.20	西部地域精液譲渡	玖珠家保	10	
R6.12. 3	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	6	
R6.12.10	西部地域精液譲渡	玖珠家保	8	
R6.12.16	北部地域精液譲渡	宇佐家畜保健衛生所	11	
R6.12.23	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	17	
R6.12.25	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	19	
R6.12.26	西部地域精液譲渡	玖珠家保	16	
R7. 1. 9	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	16	
R7. 1.15	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	10	
R7. 1.16	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	5	
R7. 1.20	西部地域精液譲渡	玖珠家保	6	
R7. 2. 4	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	18	
R7. 2. 7	西部地域精液譲渡	玖珠家保	18	
R7. 2.14	北部地域精液譲渡	宇佐家保	9	
R7. 2.20	豊肥・南部地域精液譲渡	清川道の駅	25	
R7. 2.25	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	15	
R7. 3. 5	中央地域精液譲渡	由布市畜産センター	15	
R7. 3. 5	北部地域精液譲渡	耶馬溪支所	4	
R6. 3.14	竹田市精液譲渡	竹田市畜産センター	30	
R6. 3.15	東部地域精液譲渡	県酪日出支所	10	
R6. 3.19	西部地域精液譲渡	玖珠家保	20	

（２）受入研修

①長期研修

対象者	研修内容	期間
研修生3名	大分県立農業大学校 就農準備研修（畜産コース）	R6. 4.5～R7. 3.4
受講者22名	家畜人工授精（牛）講習会	R6.10.31～R6.12.6

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	5	73	
団体等職員	0	0	
普及指導員	2	8	
学生	11	123	※大学
児童・生徒	1	27	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	3	8	※一般来場者
計	22	239	

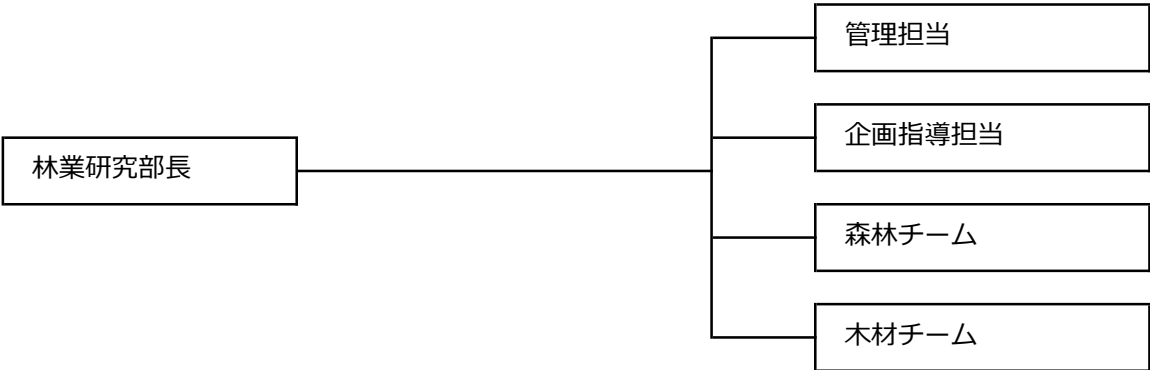
（３）指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

II-6 林業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
部長		1					1	
管理担当	2						2	
企画指導担当		2					2	
森林チーム		6			1	1	8	
木材チーム		7					7	※1
計	2	16	0	0	1	1	20	

※1 (兼)産業科学技術センター製品開発支援担当主幹研究員1名

(3) 業務

＜育種・育林の技術開発に関する試験研究＞

- ①疎植造林による育林施業体系の開発
- ②循環型林業の確立に向けた高精度なスギ人工林適地判定マップの構築
- ③低コスト循環林業の確立に向けたコウヨウザンの苗木生産・育林技術等の調査・研究
- ④エリートツリー等の原種増産技術の開発事業のための調査等委託業務
- ⑤早生樹プロモート林調査

＜環境を守る森林整備に関する試験研究＞

- ⑥花粉飛散量予測に必要なスギ雄花着花状況調査

＜県産材の需要拡大に関する試験研究＞

- ⑦スギ心去り構造用製材等の品質に関する研究
- ⑧県産スギ大径材の利活用に関する研究 – 厚板原板を活用した応力除去乾燥技術の検討 –
- ⑨県産スギ大径材の利活用に関する研究 – フォーバイ材等の性能評価 –

＜その他＞

- ⑩研究成果の情報提供、技術移転に関すること
- ⑪企業の技術支援、機械貸付に関すること

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算 課			
実 用 化 研 究	○			循環型林業の確立に向けた高精度なスギ人工林適地判定マップの構築	森林	R6～R7
	○			低コスト循環林業の確立に向けたコウヨウザンの苗木生産・育林技術等の調査・研究	森林	R6～R8
	○			疎植造林による育林施業体系の開発	森林	R2～R6
		○		エリートツリー等の原種増産技術の開発事業のための調査等委託業務	森林	R2～R6
	○			県産スギ大径材の利活用に関する研究　－フォーバイ材等の性能評価－	木材	R6～R7
	○			県産スギ大径材の利活用に関する研究　－厚板原板を活用した応力除去乾燥技術の検討－	木材	R6～R8
	○			スギ心去り構造用製材等の品質に関する研究	木材	R4～R7
基 礎 調 査 研 究	○			技術指導・試験事業	森林、木材	－
	○			標本見本園及び構内維持管理事業	森林	－
		○		花粉飛散量予測に必要なスギ雄花着花状況調査	森林	－
			○	早生樹プロモート林調査	森林	R6～

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
令和5年度林業研究部年報（第66号）	R7.3.14	66	150
林研だより（No.86）	R7.3.19	9	ホームページ掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
芦原義伸	循環型林業の確立（早生樹の取組み）	全国林業試験研究機関協議会会誌	第58号 （2024.12）	54
加藤 優仁 松本 純 加藤 小梅	適期外におけるスギへのジベレリン処理が雄花着花性に与える影響	九州森林学会 九州森林研究	第78号 （2025）	179-180
加藤 小梅	スギ・ヒノキサシ木苗の生産性向上に関する研究	公立林業試験研究機関研究成果集	No.22（令和6 （2024）年度）	43-44

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.10.11 ～10.12	第80回九州森林学会大会	松本純	エリートツリー等並びに大苗を用いた低コスト化 -大分県営モデル林における事例-
R6.10.11 ～10.12	第80回九州森林学会大会	加藤小梅	スギ特定苗木を用いたコンテナ直ざし苗の品種特性把握
R6.10.11 ～10.12	第80回九州森林学会大会	内田さや香	コウヨウザンにおける獣害対策の検討
R6.10.11 ～10.12	第80回九州森林学会大会	加藤 優仁	適期外におけるスギへのジベレリン処理と着花性効果
R7.1.22	九州におけるスギ大径材利用技術研究シンポジウム（共催：九州地区林業試験研究機関連絡協議会木材加工部会、公益社団法人日本木材加工技術協会九州支部）	山本幸雄	大分県産スギ大径材から得た心去り材の乾燥及び強度性能 -「高温セット+天然乾燥」及び「中温乾燥」について-
R7.1.22	九州におけるスギ大径材利用技術研究シンポジウム（共催：九州地区林業試験研究機関連絡協議会木材加工部会、公益社団法人日本木材加工技術協会九州支部）	古曳博也	大分県産スギ大径材から9丁取りした正角材の材質及び強度性能

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R7.3.21 ～3.22	第136回日本森林学会大会	松本純	機械学習を用いたスギ地位マップ作成に おける学習スケールの影響

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター林業研究部 研究発表会	R7.1.30	林業研究部	4	63

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.7.2	スギコンテナ苗生産に関する視察研修	林業研究部	6	大野郡森林組合
R6.7.4	省力・低コスト造林技術の普及に向けた調査委託事業シンポジウムパネルディスカッション「省力・低コスト造林技術について」（令和6年度省力・低コスト造林技術の普及に向けた調査委託事業）	トラストシティ カンファレンス・ 新大阪 Room1+Room2	80	一般社団法人日本森林技術協会
R6.7.10	令和6年度林業全般基礎（Ⅱ）前期研修及び令和6年度試験研究機関における実践研修	林業研究部	14	大分県
R6.9.4	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	25	大分県立農業大学校
R6.9.7	企業技術研修「椅子張りの基礎技術」	株式会社ベストリビング	12	協同組合日田家具工業会
R6.9.11	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	25	大分県立農業大学校
R6.9.13	苗木生産初心者研修	大分県林業研修所	3	(公財)森林ネットおおいた
R6.9.17	おおいた林業アカデミー「木材利用の試験研究について」	林業研究部	11	(公財)森林ネットおおいた
R6.9.18	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	25	大分県立農業大学校
R6.9.20	フォレストワーカー集合研修(3年目)「木材の特性」	大分県林業研修所	11	(公財)森林ネットおおいた
R6.9.26	林業種苗生産事業者講習会	大分県林業会館新館	23	大分県
R6.10.23	日田林工高等学校インターンシップ	林業研究部	1	大分県立日田林工高等学校

(2) 受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	18	25	
団体等職員	102	350	
普及指導員	1	14	
学生	4	76	※大学
児童・生徒	1	40	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	34	61	※一般来場者
計	160	566	

③企業支援

区分	件数	金額（円）
依頼試験	8	76,194
機械貸付	198	440,580
技術相談	130	-
企業訪問	48	-
計	384	516,774

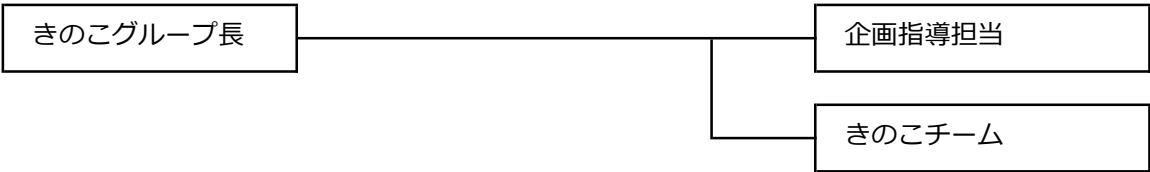
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

Ⅱ－7 林業研究部きのこグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
グループ長		1					1	
企画指導担当		3					3	広域普及員2名含む
きのこチーム		4				1	5	
計	0	8	0	0	0	1	9	

(3) 業務

- ①原木シイタケ栽培技術の改善・開発
- ②菌床栽培技術の改善・開発
- ③シイタケの機能性に関する研究
- ④きのこ類の品種改良・開発
- ⑤有用きのこ類の遺伝子収集及び保存
- ⑥研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑦病虫害等の防除技術の普及
- ⑧新規参入者の研修・技術指導
- ⑨栽培技術情報の収集・管理と情報発信

2. 試験研究課題

分類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
	センター 予算	外部 資金	生産 予算			
実 用 化 研 究	○			原材料高騰に対応した菌床シイタケの低コスト栽培技術の確立	きのこ	R6～R8
	○			乾シイタケ安定生産に向けた短時間散水技術の確立	きのこ	R5～R7
	○			乾シイタケ新品種の育成と生産技術の確立	きのこ	R5～R8
	○			原木伏込量増大のための伐採・玉切り時期の研究(Ⅰ)	きのこ	R4～R6
	○			乾シイタケの機能性成分の検証と商品開発	きのこ	R4～R6
基 礎 調 査 研 究	○			有用きのこ類の遺伝子収集および保存	きのこ	—
	○			きのこ関連調査情報収集事業	きのこ	—

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
情報誌「くらんぷ」第55号	R7.3	5	ホームページ 掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
溝口泰広・生野証大	原木乾シイタケ栽培における夏から秋の散水処理効果	公立林業試験研究機関研究成果集	No.22 令和6年度	67-68

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.10.11	第80回九州森林学会大会	溝口泰広	乾シイタケ原木栽培における夏季雨量と発生の関係について
		彌田涼子・溝口泰広	原木乾シイタケ品種（大分林研き-2103）の開発について

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター 研究活動報告会	R6.11.18	大分県水産会館	9	87
第13期大分しいたけ源兵衛塾 研究紹介	R7.1.23	きのこグループ	情報提供 3	50

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア. 大分しいたけ源兵衛塾(第13期)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.7.26	第13期大分しいたけ源兵衛塾第1回研修会	きのごグループ	30	大分県椎茸振興協議会
R6.9.26	第13期大分しいたけ源兵衛塾第2回研修会	竹田市	30	大分県椎茸振興協議会
R7.1.23	第13期大分しいたけ源兵衛塾第3回研修会	きのごグループ 竹田市	44	大分県椎茸振興協議会
R7.2.28	第13期大分しいたけ源兵衛塾第4回研修会	宇佐市	27	大分県椎茸振興協議会

イ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.8.25	令和6年度原木しいたけ新規参入者研修 第1回研修	きのごグループ	47	林産振興室
R6.10.27	令和6年度原木しいたけ新規参入者研修 第2回研修	きのごグループ	35	林産振興室
R6.12.11	令和6年度第1回原木しいたけ栽培 新規参入者ステップアップ研修	日出町	35	東部地区森林・林業活性化協議会
R7.1.26	令和6年度原木しいたけ新規参入者研修 第3回研修会	きのごグループ	43	林産振興室
R7.2.19	豊後大野市新農業者協議会視察研修	きのごグループ	7	豊後大野市新農業者協議会
R7.3.9	令和6年度原木しいたけ新規参入者研修 第4回研修会	きのごグループ	30	林産振興室

ウ. きのご生産研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.8.22	豊後大野市椎茸振興会緒方支部研修会	きのごグループ	9	豊後大野市椎茸振興会緒方支部
R6.9.5	令和6年度夏季講習	国東市	56	国東町椎茸生産者組合連合会
R6.9.6	令和6年度椎茸栽培研修会	玖珠町	41	久大地区椎茸生産者小組合連合会
R6.9.13	令和6年度豊後大野市椎茸振興会大野支部 研修会	豊後大野市	16	豊後大野市椎茸振興会大野支部
R6.10.22	令和6年度第1回 西部原木しいたけ栽培基礎研修会	玖珠町	16	西部振興局
R6.11.29	令和6年度喜椎会総会及び研修会	宇佐市	14	喜椎会
R7.1.16	令和6年度おのぼり会春子研修会	竹田市	17	おのぼり会
R7.3.5	令和6年度豊後大野市椎茸振興会 若手生産者	豊後大野市	12	豊後大野市椎茸振興会
R7.3.7	ナメコの育種に関する研修	きのごグループ	2	きのごグループ
R7.3.10	令和6年度豊後高田市 ほだ場コンクール審査会	豊後高田市	18	豊後高田市椎茸生産組合

工. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.9.4	農業大学校農学部2年生作物栽培Ⅱ（椎茸）	きのかグループ	7	県立農業大学校

才. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.7.9	令和6年度試験研究機関における実践研修①	大分市	8	林務管理課
R6.8.1	令和6年度試験研究機関における実践研修②	きのかグループ	7	林務管理課
R6.11.28	令和6年度試験研究機関における実践研修③	佐伯市	3	林務管理課
R6.12.5	令和6年度特用林産広域プロジェクト研修	大分市	19	林務管理課

力. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.5.22	令和6年度林業普及技術等習得研修(特用林産)	大分市	6	林務管理課
R6.11.15	令和6年度林業全般基礎(Ⅰ)後期研修	きのかグループ	8	林務管理課
R6.11.26	令和6年度林業全般基礎(Ⅱ)後期研修	きのかグループ 大分市	7	林務管理課

キ. 一般消費者関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.7.5	豊後大野市立新田小学校 第1回しいたけ教室	きのかグループ	17	豊後大野市椎茸振興会 豊肥地区林業振興部会
R6.12.6	令和6年度森林・林業教育支援事業 (三重第一小学校)	きのかグループ	74	森づくり人材育成協議会

ク. 関係団体総会・会議

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.4.19	令和6年度臼杵市椎茸生産組合総会	臼杵市	13	臼杵市椎茸振興協議会
R6.4.23	令和6年度宇佐市乾椎茸栽培協議会総会	宇佐市	31	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R6.4.24	令和6年度豊後高田市椎茸生産組合総会	豊後高田市	21	豊後高田市椎茸生産組合

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.7.8	令和6年度第1回椎茸技術者会議	きのこグループ	6	きのこグループ
R6.7.17	大分県生椎茸生産・流通懇談会意見交換会	大分市	18	大分県椎茸振興協議会
R7.2.25	令和6年度第2回椎茸技術者会議	きのこグループ	5	きのこグループ

ケ. 品評会関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6.4.19	令和6年度豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市	7	豊後高田市椎茸生産組合
R6.4.19	第9回臼杵市乾椎茸品評会審査	臼杵市	13	臼杵市椎茸振興協議会
R6.4.22	第18回宇佐市乾椎茸品評会審査	宇佐市	3	宇佐市椎茸栽培推進協議会
R6.4.22	第13回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	18	豊後大野市椎茸振興会
R6.4.22	第16回竹田市乾椎茸品評会審査会	竹田市	17	竹田市椎茸生産振興会
R6.4.23	第54回大分市乾椎茸品評会審査	大分市	4	大分市椎茸生産組合
R6.4.24	第16回竹田市乾椎茸品評会審査会表彰式	竹田市	30	竹田市椎茸生産振興会
R6.4.24	第13回豊後大野市乾椎茸品評会	豊後大野市	73	豊後大野市椎茸振興会
R6.4.24	第17回豊後高田市乾椎茸品評会審査会表彰式	豊後高田市	21	豊後高田市椎茸生産組合
R6.5.10	第67回大分県乾椎茸品評会箱物の部	大分市	8	大分県椎茸農業協同組合
R6.5.23	第67回大分県乾椎茸品評会袋物の部	大分市	20	大分県椎茸農業協同組合
R6.11.19	第36回大分県生しいたけ品評会	大分市	27	大分県椎茸振興協議会

（２）受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	20	529	
団体等職員	6	94	
普及指導員	7	58	
学生	1	7	※大学
児童・生徒	2	91	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	12	241	※一般来場者
計	48	1,020	

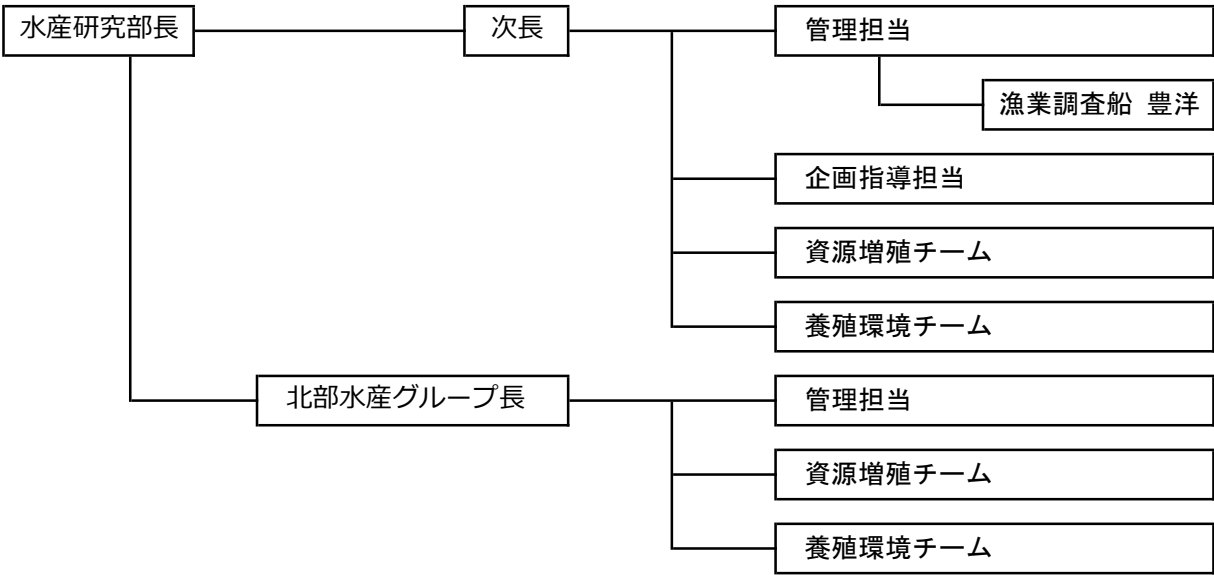
（３）指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
大分県育成品種「９－４６」 （仮）の普及のための調査・実証	大分県の気象条件に対応したオリジナル品種として開発された「９－４６」の普及	令和６年度春に９－４６を植菌した生産者２７名をリスト化し、うち１４名について伏込管理方法やほだ化状況について現地調査・指導を実施。 現地調査を行った生産者について、生産者台帳を作成し、今後の継続的な調査に活用する。

II – 8 水産研究部 (北部水産グループ含む)

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

令和6年4月1日現在

組織 \ 職種	事務職員	技術職員	技師	労務技師	業務技師	農業技術員	計	備考
水産研究部								
部長		1					1	
次長	1						1	
管理担当	2	5					7	海事職員5名
企画指導担当		2					2	
資源増殖チーム		7					7	
養殖環境チーム		8					8	
北部水産グループ								
グループ長		1					1	
管理担当	1						1	
資源増殖チーム		5					5	
養殖環境チーム		6					6	
計	4	35	0	0	0	0	39	

(3) 業務

- ①漁業の調査研究に関すること
- ②漁業の生産および技術指導に関すること
- ③水産動植物の増養殖に関すること
- ④漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤水産動物の防疫等指導に関すること
- ⑥水産物の利用加工等指導に関すること
- ⑦内水面の増養殖技術の普及指導に関すること
- ⑧漁場環境保全・赤潮等の被害防止技術に関すること
- ⑨その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題

所 属	分 類	財源別			試験研究課題名	担当チーム	研究期間
		セン ター 予 算	外 部 資 金	生 産 予 算 課			
水 産 研 究 部	実 用 化 研 究	○			県産養殖ヒラメの周年安定生産に向けた耐病性系統の選抜育種	資源増殖	R6～R8
		○	○		健全な海産養殖魚を生産するための魚病対策技術開発	養殖環境	R5～R7
		○			先端技術を用いた赤潮の監視体制の整備及び持続可能な赤潮発生抑制技術開発	養殖環境	R6～R8
		○			新たな養殖技術開発 ～高品質で低コストな養殖魚生産を目指して～	養殖環境	R3～R6
				○	安心・安全で環境に優しい養殖推進事業	養殖環境	H26～
				○	海洋環境保全型養殖推進事業	養殖環境	R4～R6
				○	安心・安全な貝類出荷体制構築事業	養殖環境	R6～R8
				○	未来につながる養殖環境創生事業	養殖環境	R5～R7
				○	養殖ブリ周年供給体制構築事業	資源増殖	R6～R8
			○	○	ヒラメ養殖業成長産業化支援事業	資源増殖、養殖環境	R5～R7
	基 礎 調 査 研 究	○			養殖衛生管理指導事業（南部海域）＊海面だけでなく内水面含む	養殖環境	－
			○		赤潮被害防止対策技術の開発（赤潮モニタリング・赤潮防除）	養殖環境	－
			○		魚介類養殖における気候変動に左右されない強力な赤潮対応技術の開発	養殖環境	R6～
		○			磯焼け対策に関する技術開発（モニタリング調査）	資源増殖	－
			○		ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発	資源増殖	R4～
		○	○		資源に関する基礎調査（モニタリング調査）	資源増殖	－
		○	○		資源環境に関するデータの収集、情報の提供（情報提供事業）	資源増殖	－
			○		凍結精子の基盤情報の整備と活用システムの構築	資源増殖	R5～
				○	安心・安全で環境に優しい養殖推進事業（漁場環境）	養殖環境	H26～
				○	漁場環境保全推進事業（発生監視）	養殖環境	－
				○	資源関連調査	資源増殖	
				○	資源造成型栽培漁業推進事業	資源増殖	R5～R7
				○	海域戦略魚種増殖モデル構築事業	資源増殖	R6～R8
				○	魚礁効果調査	資源増殖	-
				○	養殖ブリ等内蔵等利用技術開発	養殖環境	H28～R6
北 部 水 産 グ ル ー プ	実 用 化 研 究	○			高級魚キジハタの種苗生産技術開発	資源増殖	R2～R6
			○		新規栽培漁業対象種資源対策事業のうち二枚貝（タイラギ）	資源増殖	R4～
		○			有用海藻類の増・養殖技術の開発	養殖環境	R6～R8
			○		安心・安全で環境に優しい養殖推進事業(クロメ養殖推進事業)	養殖環境	H26～
			○		豊かな海を活用したカキ類等養殖拡大推進事業（カキ、アサリ、オゴノリ）	資源増殖、養殖環境	R6～R8
			○		スマート農林水産業技術普及拡大事業（電子遊漁券システムを活用した内水面漁業の資源管理の実証）	養殖環境	R4～R6
	基 礎 調 査 研 究	○	○		養殖衛生管理指導事業（北部水域）	養殖環境	－
		○			地域重要魚介類の資源動向及び回復施策に関する研究(アサリ)	資源増殖	－
			○		豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩対策推進事業	養殖環境	－
		○	○		資源環境に関するデータの収集、情報の提供（ノリ養殖指導、情報提供）	資源増殖、養殖環境	－
		○			漁場環境・水生生物モニタリング調査	養殖環境	－
		○	○		資源に関する基礎調査（モニタリング調査）	資源増殖	－
				○	漁場環境保全推進事業（赤潮・貝毒監視、漁場環境）	養殖環境	-
				○	水産資源管理推進事業（タチウオ、アサリ、ナルトビエイ）	資源増殖	-
				○	栽培対象魚種技術開発事業（マコガレイ、クルマエビ）	資源増殖	-
				○	海域戦略魚種増殖モデル構築事業（資源管理の強化と放流効果の確認）	資源増殖	R6～
			○		新規栽培漁業対象種資源対策事業のうち魚類、甲殻類（効果の高い放流手法の開発）トラモアタグ	資源増殖	R4～
			○		自主的資源管理体制高度化事業（クルマエビ）	資源増殖	R3～
				○	資源造成型栽培漁業推進事業（クルマエビ種苗検査）	養殖環境	-
				○	内水面振興事業（外来魚・カワウ等による食害被害軽減対策指導）	養殖環境	-
		○			ハモなど食品加工残渣を利用した効率的な操業支援実証事業	資源増殖	R3～R6

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアクアニュース No.59	R6.5.27	12	ホームページ掲載
おおいたアクアニュース No.60	R7.1.29	13	ホームページ掲載

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
和田宗一郎・坂地英男	豊後水道西部に生息するイトヨリダイの成長と成熟の雌雄による違い	日本水産学会誌	第90号	400-407
吉田 光男, 井口 大輝, 平江 想, 中島 吉洋, 向井 幸樹, 加藤 宏晴, 本田 清一郎, 宮村 和良, 山砥 稔文, 高井 優生, 大嶋 雄治, 島崎 洋平	クロロフィル蛍光スペクトルのピークシフトを利用した有害赤潮鞭毛藻 <i>Karenia mikimotoi</i> の存在検知と細胞密度推定	日本水産学会誌	91 巻 1 号	14-27
Soichiro Yoshizawa, Yuki Ishida, Chihiro Nakashima, Fuyuka Murotani, Tomouiki Hara, Keisuke Yoshii, Hidetoshi Yamada, Yutaka Fukuda, Reiko Nozaki, Keiichiro Koiwai, Ikuo Hirono, Hidehiro Kondo	Systemic immune responses do not affect significant immune responses in the skin	Fish and Shellfish Immunology	152	in press
伊藤 龍星	魚つき保安林と定置網漁業	機関誌「ていち」	147	11-22

※ 下線は当センター職員

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.8.26-8.29	瀬戸内海水産環境研究集会	渋谷駿太	大分県における出現魚種の変化に関する評価手法の考察
R6.9.7	令和6年度日本魚病学会秋季大会	Theeyathart HOMSOMBAT・Keisuke YOSHII・Fuyuka MUROTANI・Tomoyuki HARA・Yutaka FUKUDA・Keiichiro KOIWAI・Ikuo HIRONO・Hidehiro KONDO	Identification of a Novel Genomic Island in <i>Edwardsiella piscicida</i> from Diseased Japanese Flounder (<i>Paralichthys olivaceus</i>) in Oita, Japan, 2023

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R6.10.30	第44回九州・山口ブロック魚病分科会	<u>吉井啓亮</u>	大分県の養殖ヒラメから分離されたOTC耐性 <i>E.piscicida</i>
R6.11.12	令和6年度九州・山口ブロック水産試験場長会「磯焼け・藻場造成分科会」	<u>白樫真</u>	漁港を活用した藻場造成の可能性について
R6.11.21	令和6年度九州・山口ブロック水産試験場長会「漁場環境分科会」	<u>西山雅人</u>	IoT等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策 自動観測装置を用いた陸上養殖における赤潮監視
R6.11.22 ～11.24	水産海洋学会	横内克巳・奥西 武・由上龍嗣・日高敏隆・東屋知範・宮島侑也・堀之内祐介・板谷和彦・長野晃輔・扇田いずみ・小野寺光文・村上泰宗・増田義男・三浦瑠菜・白土遼輝・荒井将人・長谷川拓哉・辻 康平・大畑 聡・三科智輝・海野幸雄・中島廉太郎・石川陽子・清水重樹・関信一郎・ <u>渋谷駿太</u> ・山田和也	2010-2023年の太平洋沿岸における水温とマサバ定置網漁期の変化
R6.11.23	北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 第4回シンポジウム 大阪公立大学養殖場高度化推進研究センター 第23回セミナー	<u>宮村和良</u>	各地域や大学発スタートアップによる漁業・養殖業高度化事例
R6.11.23	北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 第4回シンポジウム 大阪公立大学養殖場高度化推進研究センター 第23回セミナー	<u>宮村和良</u> 、 <u>西山雅人</u> 、野田誠、紫加田知幸 梶川和武	地球温暖化に対応した養殖魚施設の開発（養殖ブリ編）
R6.11.23	北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター 第4回シンポジウム 大阪公立大学養殖場高度化推進研究センター 第23回セミナー	<u>室谷冬香</u> 、 <u>中島智優</u> 、 <u>斎藤義昭</u> 、 <u>宮村和良</u>	スマート技術導入による陸上養殖の省力化
R6.12.5	令和6年度 魚病症例研究会	<u>吉井啓亮</u>	大分県の養殖ヒラメから分離された <i>E.piscicida</i> OTC耐性株

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
R7.1.29	令和6年度九州・山口ブロック水産試験場長会「利用加工分科会」	<u>斉藤義昭</u>	養殖加工残渣の利用方法について
R7.1.29	令和6年度九州・山口ブロック水産試験場長会「海面増殖分科会」	<u>安部憲人</u>	ヒラメ耐病性家系の育種と評価
R7.2.3	全国湖沼河川養殖研究会 アユ疾病部会	<u>村瀬直哉</u>	アユの非感染症が疑われる死亡事例と対応について
R7.3.9	金沢大学環日本海域環境研究センター2024年度共同研究成果報告会	北辻さほ, 中國正寿, 野田誠, <u>宮村和良</u> , 長尾誠也, 落合伸也	大分県入津湾における環境変化の復元
R7.3.17	令和7年度日本魚病学会春季大会	松岡大海・原川翔伍・ <u>吉井啓亮</u> ・小池博希・竹内久登・本領智記・Biswas Amal・白樫正・北村真一・伊藤直樹・渡邊勇歩	国内に分布する海産白点虫 <i>Cryptocaryon irritans</i> の分子系統解析
R7.3.23	日本藻類学会第49回大会	上井進也・星野雅和・焦天怡・ <u>白樫真</u> ・伊藤龍星・Shan Tifeng・斎藤大輔・佐藤陽一	瀬戸内海沿岸におけるワカメの遺伝的構造について

※ 下線は当センター職員

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
令和6年度農林水産研究指導センター研究活動報告会	R6.11.18	大分県水産会館	9	87
令和6年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	R7.1.31	大分県水産会館	13	77

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R6. 4.23	令和6年度陸上養殖関連事業説明会	大分県漁協佐伯支店	25	水産振興課
R6. 4.25	令和6年度陸上養殖関連事業説明会	大分県漁協下入津支店	22	水産振興課
R6. 5.29	令和6年度魚病及び赤潮担当者会議	水産研究部	20	
R6. 6.21	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	17	大分県水産養殖協議会
R6.7.6	地元産業説明会	佐伯鶴城高校	30	
R6.7.10	東国東水産振興協議会総会（話題提供）	東部振興局	20	
R6. 7.16	大分県水産養殖協議会 令和6年度魚類養殖講習会	さいき城山桜ホール	74	大分県水産養殖協議会
R6. 8.1	漁業学校（赤潮調査技術）	入津湾	2	大分県漁業協同組合 水産振興課
R6.8.1	漁業学校（漁場環境調査、赤潮調査）	北部水産グループ	2	大分県漁業協同組合 水産振興課
R6. 8.5	おさかな教室	臼杵市役所	25	うすき海のほんまもん漁業推進協議会
R6. 8.26	漁業学校（魚病診断技術、魚病学）	水産研究部	2	大分県漁業協同組合 水産振興課
R6. 9. 3	漁業学校（魚類栄養学）	水産研究部	2	大分県漁業協同組合 水産振興課
R6.10.8	漁業学校（水産資源調査）	北部水産グループ	2	大分県漁業協同組合 水産振興課
R6.11.19	第4回入津地区養殖振興検討委員会	佐伯市	22	大分県漁業協同組合
R6.12.5	漁業学校（栽培漁業、海藻生態学）	北部水産グループ	2	大分県漁業協同組合 水産振興課
R6.12.10	大分川漁業協同組合役員会 （研究事例報告）	大分川漁業協同組合	15	
R6.12.11	内水面魚病講習会	豊泉荘	32	大分県冷水魚養殖研究協議会
R7.1.31	第22期内水面漁場管理委員会 （研究事例報告）	県庁	17	
R7.2.21	大分県漁船造船鉄工協議会研修会	別府市（ホテルサンバリーアネックス）	30	大分県漁船造船鉄工協議会
R7.2.25	豊後灘海面利用地区協議会	東部振興局	9	豊後灘海面利用地区協議会
R7.3.8	豊前海区漁業青年協議会研修会	大分県漁協中津支店	30	豊前海区漁業青年協議会
R7.3.8	令和6年度大分県タチウオ漁業者検討会	大分県水産会館	23	大分県漁業協同組合

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
R7.3.14	大分県水産養殖協議会青年部会 養殖技術・経営向上対策講習会	大分県漁協佐伯支店	39	大分県水産養殖協議会
R7.3.14	大分県水産養殖協議会 青年部会賛助会員懇談会	大分県漁協佐伯支店	13	大分県水産養殖協議会
R7.3.25	佐賀関一本釣りとは津まき網漁業との 調整会議	臼杵土木事務所	20	大分県漁業協同組合
R7.3.26	第5回入津地区養殖振興検討委員会	佐伯市	22	大分県漁業協同組合
R7.3.26	大分県漁業士連絡協議会真珠部会	佐伯市	10	大分県漁業士連絡協議会
R7.3.27	資源管理協議会臨時総会	大分県水産会館	10	大分県漁業協同組合 水産振興課

（２）受入研修

①長期研修

該当なし

②生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	2	15	
団体等職員	6	58	
普及指導員	0	0	
学生	2	7	※大学
児童・生徒	4	68	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	0	0	※一般来場者
計	14	148	

（３）指導・研修プロジェクトの実証

該当なし

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
農林水産研究指導センター	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
○農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐 65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原 4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦 3456	0972-82-2837	0972-82-5322
落葉果樹チーム	872-0103	宇佐市大字北宇佐 65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見 710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
○畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住 3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
○林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原 35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 2369	0974-22-4236	0974-22-6850
○水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦 194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
北部水産グループ	879-0608	豊後高田市呉崎 3386	0978-22-2405	0978-24-3061

令和 6 年度
(2024 年度)
大分県農林水産研究指導センター業務年報

令和 7 年（2025 年）7 月発行

編集
発行 大分県農林水産研究指導センター

〒879-7111
豊後大野市三重町赤嶺 2328-8
TEL 0974-28-2074
FAX 0974-28-2052